

各地で開催する 日本・ベトナム外交関係樹立50周年事業



来日したボー・パン・トゥオン国家主席



2023.11.18 越日外交関係樹立50周年記念式典 明治記念館



公益社団法人ベトナム協会主催 日本ベトナム教育文化交流会 8/5



ベトナムフェスティバル開会式 代々木公園 6/3-4



初めて開催された大阪 6/10-11



ベトナムフェスティバル開会式（6/3）に参列した
左2人目から 湯下副会長、梅田理事、山中会長



秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席の下、
ハノイで開催された記念式典 9/21



ベトナムフェスタ in 神奈川 9/8-10



水上人形会場（ベトナムフェスタ in 神奈川）



シンチャオ！さいたま 9/1-3



ベトナムフェスタ in 甲府 11/4



ベトナム フォーフェスティバル 10/7



KANAGAWA festival in DANANG 11/16



KANAGAWA festival in HANOI 11/18-19



オペラ
「アニオー姫」
日本プレミアム公演
11/4 人見記念講堂



ヒエウ大使を表敬 5/30 山中会長・湯下副会長等



ベトナム研究会 6/22
講師 写真左：梅田邦夫氏
写真下：樋口純一氏



機関誌ベトナム2023-2024 目次

写真報告	写真巻頭
目次	
1. 日越外交関係樹立50周年記念挨拶	
50周年式典（明治記念館）	ベトナム国特命全権大使 ファム・クアン・ヒエウ閣下… 2
50周年事業（日本ベトナム教育文化交流会）	公益社団法人ベトナム協会会長 山中祥弘… 3
50周年式典（ハノイ市）	ベトナム日本友好協会会長 トー・フイ・ルア氏… 4
50周年式典（明治記念館）	ベトナム外務大臣 プイ・タイン・ソン氏… 7
特報 トウオン国家主席 26年前宮崎市にホームステイ ホストファミリーに再会	宮崎日日新聞より… 9
2. 事業報告〈研究会〉 ～ベトナム人材が日本を助ける～	
講演 「どうなる技能実習・特定技能制度！」（人口減と外国人労働者）	
元駐越日本国特命全権大使・（一財）外国人材共生支援全国協会副会長 梅田邦夫氏…	10
講演 「最強の助っ人、ベトナム人若者のリアルな姿」	（有）日本橋弁松総本店 代表取締役 樋口純一氏… 14
3. 事業報告〈調査・研究〉	
「総説」黒毛和種牛肉の輸出課題に向けた科学的なデータの集積	
神戸大学大学院農学研究科 動物資源利用化学分野 准教 上田修司氏…	18
タインホア省のチャム舞踊（占城伎）の里を訪ねて	東洋大学アジア文化研究所客員研究員 新江利彦氏… 21
4. 事業報告〈セミナー等〉	
日本ベトナム教育文化交流会	公益社団法人ベトナム協会… 26
5. 特集 インターンシップ	
グローバルインターンシッププログラムの取り組み内容	（株）J&J ヒューマンソリューションズ… 28
私は松之山温泉でインターンシップを体験しました。	ハノイ大学 日本語学部 ファム・ティ・フエさん… 30
私は北海道にインターンシップしました。	FPT大学 日本語学部 チャン・ミン・ズイさん… 32
私は城崎温泉でインターンシップ中です。	ハノイ大学 日本語学部 ファン・ティ・ガンさん… 33
6. 各地で開催されたベトナムフェスティバル	
ベトナムフェスティバル2023 代々木公園	36
池袋ベトナムフェスティバル・「シンチャオ！さいたま」ベトナムフェス	37
ベトナムフェスタin甲府	山梨学院大学国際交流センター… 38
ベトナムフェスタin神奈川・Kanagawa festival in HANOI・in DANANG	39
各地で開催されたベトナムフェスティバル	40
7. 日越外交関係樹立50周年事業	
VJCT日本語会話指導員へ感謝状贈呈・意見交換会	公益社団法人ベトナム協会… 41
オペラ「アニー・姫」プレミアム日本公演・ホイアン日本橋展	42
Nasic日本語スピーチコンテスト	一般財団法人学生サポートセンター… 43
VYSA2024年度役員決定	在日ベトナム学生青年協会… 44
行政書士無料相談会	東京都行政書士会… 45
ベトナム人留学生そば打ち体験会	東京大江戸ライオンズクラブ… 45
日本画襖絵展 ハノイ大学で	日本画家 伊東正次氏… 46
学習まんが人物館『広岡浅子』（ベトナム語版）読書感想文コンクール授賞式	大同生命… 46
フエ外国語大学訪問記	小川弘行… 47
ベトナム語スピーチコンテスト	神田外語大学… 48
ベトナムフォーフェスティバル	トイチェ新聞… 49
報告	一般社団法人 大阪ベトナム友好協会… 50
日越イベントでの理事の活躍が光る年	一般社団法人 日本ベトナムビジネス連合… 52
ゆかりのトゥア・ティエン・フエ省で文化行事を開催	袋井ベトナム友好協会… 53
ベトナムで技能実習生と2週間寝食を共にしました	NPO法人 Adovo… 54
8. ベトナムの習慣・文化	
バッチャン陶器博物館を訪ねて	小川弘行… 55
9. 掲示板	
新入会員・会員名簿	
役員 一覧表	
あとがき	

表紙写真 ドンホー版画 バクニン省ドンホー村（東胡村）で製作、伝統的な絵が描かれた版画。
新年を祝賀する縁起物として旧正月（テト）の時期に家庭で飾られる。

日本・ベトナム外交関係樹立50周年

1973年9月21日 日本とベトナムは外交関係を樹立し、2023年50年周年を迎えました。

これまでの50年は、両国政府及び国民による政治・経済・教育・文化等幅広い交流から、今日の両国の繁栄を迎えることができました。

両国関係の変遷は、長期安定・相互信頼関係（2002年）、日本・ベトナム戦略パートナーシップに関する共同宣言（2009年）、平和と繁栄のための広範な戦略的パートナーシップ（2014年）、そして2023年11月トッオン国家主席来日時に、アジア及び世界の平和と繁栄のための包括的・戦略的パートナーシップとして、最も高いレベルに引き上げられました。

50周年を記念して日本・ベトナム両国の各地で、多くの祝賀式典・フェスティバル・記念事業が開催され、友好親善は一段と深まりました。本誌ではその一部を掲載いたします。

日越外交関係今後の50年は両国の若者に委ねられると言えます。

50年後の2073年はどんな日越関係になっているのでしょうか？

超高齢社会の中に入っている日本は、労働力不足が大きな課題であり、ベトナムをはじめとするアジアの若い力を借りなければなりません。そのためには、「外国人から選ばれる日本」を、真剣に考えなければなりません。海外から指摘を受けた技能実習制度は改革が始まっています。

日本語能力を持ち、日本を好きな外国人が容易に在留できるシステムを作ることも課題でしょう。

我が国がおかれた環境や立場は大きく変化しています。状況にあった変化が求められる時代に入っていることを十分考慮した政策推進に期待したいと思います。

ご挨拶



ベトナム社会主義共和国特命全権大使
ファム・クアン・ヒエウ閣下

2023.11.28 明治記念館にて
越日外交関係樹立50周年記念式典ご挨拶

50年前に、ベトナムと日本は、外交関係を正式に樹立しました。

ここ50年間にわたり、両国の友好協力関係が両国の首脳及び国民間の深い相互理解、相互信頼を踏まえ、強力で効果的に発展して来ています。このような目覚ましい成果を達成するために、両国の首脳、日本国の皇室の方々、各界、各分野、国民の力強いご高配・ご支持を賜りました。昨日、2023年11月27日にヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席の公式訪問の際、アジア及び世界の平和と繁栄のための包括的な戦略的パートナーシップとしての最も高いレベルへ両国関係の枠組みの格上げで合意しました。

本日、両国首脳の合意の下で駐日ベトナム社会主義共和国大使館は、両国の関係機関と協力し、両国外交関係樹立50周年記念式典をこのように盛大に開催します。ヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席及び令夫人、チャン・リュイ・クアン副首相、ブイ・タイン・ソン外務大臣及びベトナムハイレベル一行をお迎えすることができ、極めて光栄です。

日本側に秋篠宮皇嗣同妃両殿下、額賀福志郎衆議院議長、二階俊博日越友好議員連盟会長、上川陽子外務大臣、小泉龍司法務大臣、木原稔防衛大臣及びご来賓の皆様をお迎えしました。

本式典もベトナムハイレベル一行の訪日の著しい成功を祈念するためにもなります。

この場をお借りし、両国首脳、日本国の皇室の方々、政治家、経済団体、経営者、友好協会及び友人の皆様に深甚なる感謝の言葉をお伝えします。

新たな時代のアジア及び世界の平和と繁栄のための包括的な戦略的パートナーシップの一層の力強い発展に向け、両国首脳、日本国の皇室の方々及びご列席の皆様より多大な御支持・ご支援を賜りたいと思います。

誠にありがとうございました。



日本ベトナム教育文化交流会

開会ご挨拶

2023.8.5

公益社団法人ベトナム協会

会長 山 中 祥 弘

外務省 南東アジア第一課長 大塚建吾様
ベトナム社会主義共和国 特命全権大使 ファム クアン ヒエウ閣下
ベトナム日本友好協会 トー フィルア会長様
ご来場の皆様 YouTubeでご覧頂いています皆様

日越外交関係樹立50周年 日本アセアン友好協力50周年事業が、会場の皆さま、YouTube中継でご覧いただいているベトナムの皆様と、一緒に開催出来ますことに心から御礼申し上げます。

今日（こんにち）の、日本とベトナムは、名実ともに最高の友好国の一つとなりました。これには両国政府や国民の不断の努力によるものと考えています。次の50年を展望した時には、ベトナム人留学生など両国の若者が、先頭に立つ時代を迎えたと考えています。

今から118年前、ファン ボイ チャウ氏が日本を訪れ、時の政府犬養毅等に人材育成の必要性を説かれ、日本留学の動き（東遊運動）がはじまりました。1908年には200人のベトナム人留学生が日本にいたと記されています。また、ファンボイ チャウ氏の活動を支えた、浅羽佐喜太郎翁への「報恩の記念碑」が、静岡県袋井市の常林寺に建立されています。私もベトナム人留学生たちと訪問した時のことが思い出されます。わずか118年の間に、200人の留学生が、今では、約7万人のベトナム人留学生へと、大きな変化を遂げたのです。

日本は、少子高齢化の時代に入り、ますますベトナム人の若い力が必要になっています。
この50周年を機会に、日本とベトナムは真の若者交流の時代へと変化していかなければなりません。
今日の交流会は、そのスタートだと考えています。

日本で生活する外国人の皆さまが、安心して学べる、安心して暮らせる、安心して仕事ができる日本を目指して、政府をはじめ皆が力を合わせて、改善努力をしています。

YouTubeでご覧頂いている、日本語を学ぶ学生の皆さん、是非日本留学をお考え下さい。
私が理事長をする、ハリウッド美容専門学校、大学院大学にも、ベトナム人留学生が20人ほどいます。
私はもっと、もっとベトナムの人に日本へ留学してほしいと願っています。
また、日本からベトナムへの留学生を増やす努力をしてゆきたいと考えています。

そして、その人たちの手によって、次の50年、新たな日本とベトナムの友好関係を考えて頂きたいと思います。

私は、過日ベトナム大使館を訪問して、ヒエウ大使にお目にかかりました。ヒエウ大使は、名古屋大学大学院のご卒業とお聞きし、これからは日本とベトナムの新たな友好関係のために、いろいろアドバイスを頂こうと思っています。

最後になりますが、ご来場の皆様、YouTubeでご覧頂いている皆様のご多幸とご健勝をお祈りして、開会のご挨拶といたします。

（当日は湯下副会長が代読しました。）

ベトナム・日本外交関係樹立50周年記念式典

ご挨拶 (ハノイ市)

2023.9.21

ベトナム各国友好団体連合会
ベトナム・日本友好協会
会長 トー・フィ・ルア氏



秋篠宮皇嗣同妃両殿下

チョン・ティ・マイ 共産党政治局員、党中央書記局常務委員、
党組織委員会委員長、ベトナム日本友好議員連盟会長

チャン・リュ・クアン 党中央委員会委員、副首相

山田滝雄 駐ベトナム社会主義共和国日本国特命全権大使

ご臨席のベトナムと日本の皆様

本日よりちょうど50年前の1973年9月21日、正式にベトナム日本外交関係が樹立され、ベトナムと日本両国にとって新しい一章が開かれる重要な出来事となりました。

本日、ここに皆様のご臨席を賜り、外交関係樹立という歴史的かつ重要な記念式典を行うことができ、本式典を主催するベトナム各国友好団体連合会、ベトナム日本友好協会の代表者として、そして私個人として、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご訪問を熱烈に歓迎するとともに心より感謝申し上げます。

秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご訪問は日本の人々からベトナムへの温かい気持ちを感じさせております。

また、本日の意義深い記念式典にチョン・ティ・マイ党中央書記局常務委員、チャン・リュ・クアン党中央委員副首相、ベトナムと日本の皆様よりご列席を賜り、感謝申し上げます。

皆様、数千キロ離れているベトナムと日本民族ですが、両国の伝統文化には多数の共通点があります。昔から両国の国民は稲作や漁業で生活を営み、神様や祖先、民族の英雄を祀る習慣を持っています。

遡って、ベトナムと日本の交流は8世紀に仏教が736年に日本に渡る時から始まり、16世紀にベトナムに寄港する日本の商船と商人によって両国の貿易交流が開始されました。

現在においてもホイアンの街並みや日本橋などベトナムに数多く歴史的、文化的遺跡が保存されています。17世紀にベトナムのゴクホア姫と日本の有名な商人である荒木宗太郎との歴史的な結婚、20世紀初頭に、日本への留学運動の中でベトナムのファン・ボイ・チャウと浅羽医師の感動的な友情は、今でも静岡の人々が大切にしています。ベトナムと日本両民族の長い伝統を持ち関係の証です。

文化的、宗教的そして歴史的繋がり、ベトナムと日本の両民族の距離を近づけただけでなく、その調和や補完性が両国の関係が発展するためのしっかりした基盤となっています。

皆様、この50年間の歳月の中で、幾度も困難を乗り越えた両国の関係は飛躍的に発展し、その発展振りは誇りに満ちたものです。ベトナム日本両国の記念すべき出来事は、長期安定・相互信頼関係（2002年）、ベトナム・日本戦略パートナーシップに関する共同宣言（2009年）、平和と繁栄のための広範な戦略的パートナーシップに格上げ（2014年）など、これまで越日関係はすべての分野において力強く、全面的、実質的に発展しています。

政治的信頼性は、両国間のハイレベルの往来や国際フォーラム・地域フォーラムで行われたハイレベル会合を通じて、コロナ禍においても絶えず注力され強固なものとなっています。ベトナム共産党中央執行委員会書記長、国家主席、首相等ハイレベル指導者が複数回日本を訪問し、直近では2021年12月にファム・ミン・チン首相が、岸田文雄首相が就任直後の賓客として訪日し、2023年5月に日本で開催されたG7サミットアウトリーチ会合に招待国として参加しました。

日本からは、故安倍晋三首相、元菅義偉首相は首相就任後、初の外国訪問先としてベトナムを選び、故安倍晋三首相は同じ年にベトナム訪問を2度果たす等ハイレベル訪問も頻繁に行われ、特に天皇皇后両陛下（当時）のご訪問はベトナム国民に深い印象を残しました。

各分野における交流、特に国防、安全保障、投資、貿易、ODA、医療、農業、科学技術、デジタルトランスフォーメーション、気候変動への対応での交流協力は積極的に行われ、日本は引き続きベトナムのトップレベルでの重要な経済パートナーであり、最大のODA供与国、労働分野では2位、投資・観光では3位、貿易では4位のパートナー国です。

両国の地方間の交流は強く発展しており、実質的な関係としてますます深化し、多方面で実施される両国の協力に飾る花となっています。

国民交流、青少年交流、文化交流などの開催規模及び広い波及力を持つ交流が継続されています。現在、日本在住のベトナム人の数は50万人で、ベトナムで仕事、生活している日本人は3万人です。「国民大使」として日本とベトナムの関係発展に寄与するだけでなく、両国の関係が密接にかつ全面的な深化に貢献しています。

皆様 50年間の道のりと直近を振り返ると、いずれかの国が困難に直面している時にもう一つの国民が寄せた気持ちは両国の深い関係のいきいきとした証であります。

日本で東日本大震災が発生した時、政府からの呼びかけを待たずに多くのベトナム国民が自主的に献金し、日本の国民への物心・心的への応援を様々な形で行いました。逆に、災害の被害を受けた厳しい経済状況の中でも日本はベトナムへのODA供与を継続し、今日まで援助を続け、変わらぬ一位になっています。

またベトナムと日本はお互いへの誠実な気持ち、お互いへの深い関心を示し、新型コロナ禍においても両政府と国民は頻繁に状況確認し、支援し合いました。

ベトナムと日本の関係は、これまでになく最も良好な状態にあります。両国関係がさらに発展、拡大や深化する潜在力をもっており、高い信頼度を双方で認識していることを特別に協調したいと思います。

皆様 半世紀続いたベトナム・日本の関係は新たな発展段階に入ろうとしています。高い政治的信頼、実質的・効果的な経済関係、豊かな文化・国民・社会交流を基礎とした両国関係は両国の国民の願望と利益に添えていきます。

ベトナム各国友好団体連合会、ベトナム・日本友好協会は両国の国民交流、文化交流事業を今後も推進し、両国の組織間、地方間および国民の友好関係のますますの発展に貢献します。青年、学生など将来を担う若い世代の交流を優先分野とします。

これまでの50年間の両国の関係は多くの世代によって培われてきました。この先の50年間は、両国の

若者世代の密接なつながりが両国の関係の決定的意味を持つものになります。

50年間にわたって構築された両国関係およびすべての協力分野での成果を基礎に両国の決心的なリーダーシップと国民の努力により今後のベトナム・日本関係はますます発展し、それぞれの国造りに寄与し、世界と地域の平和、安定、協力と発展に貢献することと確信しております。

この場を借りて、日本とベトナムの両国の益々の繁栄、国民の益々の幸福を祈念します。

ベトナムと日本の伝統的な友好関係および広範な戦略的パートナーシップの持続的な発展を祈念します。

秋篠宮皇嗣同妃両殿下、チョン・ティ・マイ党中央書記局常務委員、チャン・リュ・クアン副首相、山田滝雄大使閣下のご健康・ご成功を祈念します。

日本とベトナムの指導者、本式典にご出席の皆様の健康と成功をお祈りしています。

ありがとうございました。



秋篠宮皇嗣殿下

当日、会場内に表示された日本語挨拶文を文章にしました。



トー・フィ・ルア会長



坪井善明理事、小松みゆき理事、小川弘行常務理事等が参加しました。

越日外交関係樹立50周年式典 ご挨拶

明治記念館にて 2023.11.28
ベトナム外務大臣
ブイ・ティン・ソン氏

ヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席ご夫妻
秋篠宮皇嗣同妃両殿下
日本の各政党の指導者、各大臣、国会議員及び各県知事の方々
親愛なる日本人とベトナム人の友人の皆様

本日、友情と親密さに満ち溢れた雰囲気の中、ヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席ご夫妻及び秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席の下、我々がベトナムと日本の外交関係樹立50周年式典に出席できることを誠に光栄で喜ばしく思います。

そして、昨日（2023年11月27日）、ヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席と岸田文雄内閣総理大臣の発表によりベトナムと日本の関係を「アジアと世界における平和と繁栄のための包括的戦略的パートナーシップ」に格上げされたという両国関係において極めて重要な進展は我々のこの場での喜び会いをより特別なものにしています。

ご列席の皆様 ベトナムと日本のご縁は地理的な距離を乗り越え、1300年前からのベトナムの林邑地域のファット・トリエット（Phat Triet）僧侶が仏教と音楽を交流するために奈良に到来した非常に早い時期に起源されました。500年以上前、日本の「朱印船」が貿易のためにベトナムへ来航し、日本人の街や日本商人の荒木宗太郎氏とゴックホア王女の童話のような美しい愛の物語など、ホイアンに貴重な歴史遺産を残しました。

歴史の浮き沈みを経て、1973年9月21日、ベトナムと日本は正式に国交を樹立し、両国の新たなページが切り開かれました。それから今日に至るまで、文化的な類似点、利益の共有、政治的信頼、そして特に何世代にもわたる指導者と両国の人々のたゆまぬ努力により、半世紀に及ぶ長い旅を経て、ベトナムと日本の友好協力関係は力強く実質的に深く発展し、殆どの分野で重要で多大な成果を達成しました。

政治的関係は、党、国家、政府、国会という全てのチャンネルに渡り、強化され高い政治的信頼を得ています。ハイレベルを含む各レベルの相互往来、接触が多様かつ柔軟な形で活発に、そして頻繁に行われています。国防・安全保障の協力は実質的に益々発展しています。双方は緊密かつ効果的に連携し、相互に支持し、地域及び国際社会の諸課題に役割を果たし、積極的に貢献しています。

経済協力は間違いなく規模・質ともに力強く成長し、両国間の協力関係の強固な基盤を築いています。

日本はベトナムにとって最も重要なパートナーとなり、ODAの最大供与国で、労働分野で2位、投資と観光分野で3位、貿易分野で4位のパートナーとなっています。

また、ベトナムは日本にとって労働力を送り出した最大のパートナー（約35万人）であり、日本の最大の投資先であり、魅力的な観光地でもあります。

文化、教育、地方間協力、人的交流はますます深化、実質化し、両国関係の長期的かつ持続可能な発展に光を当てる確かな架け橋となっています。両国の各地方は交流と協力を積極的に推進し、これまでに100ペア近くの地方間関係を確立し、110件程の協力文書に署名しました。

ベトナムでは桜、着物などのイメージがますます身近になってきています。そしてアオザイや蓮などのイメージ文化的特徴も徐々に日本に浸透しつつあります。ベトナムの中等教育および初等愛日教育での教育に日本語が正式に導入されました。在日ベトナム人コミュニティが52万人近くを擁し、第2の外国人コミュニティになり、日本の社会経済発展に実質的に貢献しています。

ご列席の皆様

今年、両国は国交樹立50周年を盛大に祝い、両国で約500の多様な記念事業が行われ、ハイレベル指導者を含む100名を超えるあらゆるレベルの代表団が相互訪問し、特に最もハイライトは今次のヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席、ご夫妻による日本公式訪問と9月に大成功に実施された秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるベトナム公式訪問であります。

ベトナムにとり、日本は最も重要かつ長期にわたる包括的な戦略的パートナーであるだけでなく、誠実で信頼できるパートナーでもあります。ベトナムと日本の関係発展は両国国民に利益をもたらすだけでなく、アジアと世界における平和、安定、発展の促進にも貢献します。

私は両国関係が新たな枠組みにより、あらゆる分野においてより効果的でより実質的で、より持続可能な発展を成し遂げられる新たな段階に入ると確信しています。

ベトナム外務省としては日本外務省と協力して、ベトナムと日本の包括的戦略的パートナーシップを具体化していく所存です。

最後に、ヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席ご夫妻及び秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご健勝をお祈り申し上げます。

ベトナムと日本の友好協力関係の中断なく益々のご発展をお祈り申し上げます。

そして、ご臨席の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

宮崎日日新聞より

来日中のベトナム国家主席、26年前宮崎市にホームステイ 受け入れ永井さん夫婦と再会

2023年11月30日

来日中のベトナムのボー・バン・トゥオン国家主席は29日、1997年に宮崎市でホームステイした際のホストファミリー、永井淳生（67）・裕子（64）さん夫婦（同市花山手）らを迎賓館赤坂離宮（東京都港区）に招き、朝食会を開いた。26年ぶりの再会で思い出話に花を咲かせ、旧交を温めた。



写真：宮崎日日新聞

山中会長（(公社)ベトナム協会）

ホストファミリー探し出しに尽力

来日したボー・バン・トゥオン国家主席は、1997年JICA 青年招聘プログラムで来日し宮崎市でホームステイ、その時お世話になったホストファミリーに会いたいと、(公財)日本ユースリーダー協会経由で弊協会長山中祥弘氏（ハリウッド美容専門学校理事長 宮崎県出身）に連絡が入り、手を尽くして永井淳生（67）・裕子（64）さんご夫妻を探し当て、上京してもらい国家主席との再会にこぎつけました。

ベトナム研究会 ～ベトナム人材が日本を助ける～

2023.6.22

令和5年6月22日(木)～ベトナム人材が日本を助ける～というテーマでベトナム研究会を開催しました。
第一部は、技能実習制度が、アメリカから人権問題と指摘され、法務省は見直しに着手し、有識者会議の中間段階ではありましたが、元駐ベトナム大使で、(一財)外国人材共生支援全国協会副会長で技能実習制度の改善に提案をしている梅田副会長(弊協会理事)に、どのような制度になるかをご講演頂きました。

第二部では、170年の歴史を持つ、我が国で初めて持ち帰り弁当を販売した(有)日本橋弁松総本店さん、これまで多くの外国人(ベトナム人が多い)を受け入れていることから、代表取締役樋口純一氏から、彼らのリアルな実態・体験、上手な外国人の受け入れ方等をお話いただきました。

どうなる技能実習・特定技能制度！

—人口減と外国人労働者—

梅田 邦夫 氏

前駐ベトナム特命全権大使
一般財団法人外国人材共生支援全国協会副会長
公益社団法人ベトナム協会理事



今日お話ししたいことは、1. ベトナムが日本にとって重要になった3つの理由、2. 日本の人口減少・労働力不足問題、3. 技能実習・特定技能制度改革、4. 人権問題、借金問題・悪徳ブローカー排除、偽造書類などです。

1. ベトナムが日本にとって重要である3つの理由(総論)

(1) 政治安全保障：

- ・中国の超大国化、ルールに基づく国際秩序の「力」による変更の試み
- ・一貫した厳しい対中姿勢、東アジアで最も信頼できる国に、「自然の同盟国」
- ・G7広島サミット拡大会合への参加 招へい8か国(グローバルサウス)：インド(G20) インドネシア(アセアン)、クック諸島(PIF)、コモロ(アフリカ連合)、ブラジル、豪州、韓国、ベトナム

(2) 経済分野：

- ・22経済成長率8.02% 23年第1四半期3.32%減速、世界経済の影響・不動産不況
- ・人口：2013年9千万人→2023年1億人突破
- ・日本製品(ホンダ・トヨタ・エスコックなど)に対する高い信頼感

(3) 日本の人口減少・労働力不足問題：最大の：貢献国

(参考1) 重要性を示す象徴的な行事(肩書はすべて当時)

2013年1月 安倍総理(就任後の初の外国訪問国)
2016年5月 フック首相(G7伊勢志摩首脳会議・拡大会合に初の参加)
2017年2月 天皇皇后両陛下(現上皇、両陛下にとって最後の外国訪問国)
11月 APECダナン首脳会議、安倍総理がベトナムの要請に基づきTPP共同議長就任
2018年6月 チャン・ダイ・クアン国家主席夫妻来日(両陛下にとって最後の国賓)
2019年6月 G20大阪サミット・フック首相参加(初のG20サミット・拡大会合に参加)
2020年10月 菅総理(就任後初の外国訪問)
2021年11月 ファン・ミン・チン首相来日(岸田首相就任後初の外国要人受入れ)
2022年9月 フック国家主席・安倍元総理の国葬参列(明恵夫人2023年3月ベトナム訪問)
2023年5月 ファン・ミン・チン首相(G7広島首脳会議・拡大会合に参加)

ベトナム・中国共産党の比較

類似点		
① 共産党統治の「正統性」確保、如何に国民に納得してもらうか （リーダーが国民による選挙で選出されない） ② 党の組織、統治構造（党と人民委員会の二重構造等） ③ 土地ころがし経済（土地は国有、開発権を得た者が富を得る構造） ④ 貧富の格差拡大（不平等）		
異なる点		
	ベトナム 	中国 
政治体制	集団指導体制、南北バランス、国民第一主義、党内民主化	習近平党書記の独裁体制、「力」による統治、台湾統一
思想	ホーチミン思想、中国に対する強い警戒感、緩やかな愛国主義	中華思想、習近平思想、中国の夢、中華民族の偉大な復興、人類運命共同体の構築
外交	アセアンを基軸に全方位外交	「力」による国際秩序の書き換え、ロシアとの連携、A I I B、一带一路、台湾統一
国会	3権分業、案件によっては政府の決定を否決・修正	全人代の役割はラバースタンプ（ゴム印会議）
司法	党の干渉少ない、賄賂重要、司法改革取り組み	司法権の整備は共産党統治の手段、重要案件の判決は党の指示
軍	人民、政府、党の軍隊（最高指揮官：国家主席）	党のための軍隊（最高指揮官：党書記）、党中央軍事委員会
経済	市場経済地位（WTO）、国有企業民営化（進展遅い）	国家資本主義強化、国進民退、共同富裕、新スパイ改正法（調査会社捜査対象）
言論 報道の自由	緩やかな規制・検閲、中国の宣伝工作を厳格にチェック	厳格な規制、監視、検閲、人権運動家・弁護士逮捕等
宗教の自由	宗教の自由あり、建前は無宗教、大乘仏教を保護	管理の対象、従わない宗教は弾圧、国民コントロールの手段
少数民族	53の少数民族、言語・文化の尊重	55の少数民族、同化政策、新疆ウイグル、チベット、内モンゴル弾圧
土地収用	説得による土地収用／公共工事の遅延	有無を言わせぬ土地収用

ベトナムは中国と同じ共産党ですが、その内容は大きく違います。

2. 日本の人口減少・労働力不足問題

（1）人口減（総務省統計局、22年10月現在）

- 総人口（2011年→22年10月現在）：1億2783万人→1億2494万人（11年間で289万人減）
（参考）推移：1900年－5千万、45年－72百万、70年－103百万、08年－128百万、2056年－1億人を切る
- 在留外国人（2011年→22年末現在）：約205万人→約308万人（11年間で103万人増）
（参考）総人口に占める割合：約2.5% 1位：中国人約76万人、2位：ベトナム人約49万人
- 日本人減少数は年々拡大：2011年－約20万人減、15年－約24万人減、17年－約33万人減
2019年－約46万人減、21年－約62万人減、22年－約75万人減
- 人口の年齢中央値：48.4歳（20年）世界一（70年28.8、80年32.5、90年37.3、00年41.2、10年44.7）
ベトナム32.5歳、中国38.4歳、フィリピン25.7歳、
- 特殊出生率：1.26（22年）、ベトナム1.9、中国1.16、フィリピン1.8、韓国0.78

3. 技能実習制度と特定技能制度の改革

（1）見直しの流れ（事務局：出入国在留管理庁）

- （イ）「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」と「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」（特定技能）の付則に基づき、政府は両制度の施行状況を検証し、課題を洗い出したうえ、外国人材を適正に受け入れる方策を「外国人材の受け入れ・共生に関する閣僚会議」で決定、関連法案を修正する予定
- （ロ）有識者会合開催（22年12月以降）
有識者会合は、22の関係団体・個人（実習生）から意見を聴取し、23年5月中間報告書（改革の方向性）発出。右を踏まえ、政府は、6月9日上記（イ）の「関係閣僚会議」で「技能実習の発展的解消」と「特定技能第二号の2分野から11分野への拡大」を決定。
- （ハ）有識者会合を6月14日再開し、秋に最終報告。右を踏まえ、「関係閣僚会議」で具体策を決定、来年の通常国会で法律改正。これから秋までが正念場であり、要望があれば「声」を上げることが重要
- （ニ）自民党は政務調査会の中にある「外国人労働者等特別委員会」で外国人労働者問題を半年にわたり討議、「提言」を発出

4. 基本課題

① 人権侵害対策 ② 借金減額、悪徳ブローカー排除対策 ③ 偽造書類対策

(1) 人権侵害対策（暴言・暴力・給与・残業手当未払い）

- ・ESG投資：2021年のG7サミット、E（環境）に加えS（社会）にも焦点。首脳宣言において、新疆ウイグル人虐殺（ジェノサイド）、強制労働を念頭に「人権や基本的自由を尊重するように中国に求める」と規定。
- ・今や、ビジネスにおいて「人権配慮」が不可欠な時代。企業はサプライチェーン上に強制労働などの「人権侵害」がないかを把握し、対策を取って、情報開示を求められる（人権デューデリジェンス＝人DD）
- ・製品ボイコット、輸入禁止などの対象になる

(イ) 日本政府

- ・20年10月：政府は「ビジネスと人権に関する行動計画」を策定。行動計画では、外国人材も対象にするよう明記
- ・21年11月：岸田政権は中谷人権担当補佐官の新設
- ・22年9月：サプライチェーン全体で人権侵害を防ぐ、人権デューデリジェンス（DD）指針を公表
- ・23年4月 公共工事や政府調達（IT機器など）で「人権デューデリジェンス」を要件化
欧米諸国では、強制労働や児童労働などの人権侵害をめぐる企業責任、人権DDを問う法令整備（米（ウイグル強制労働防止法）、仏（注意義務法）、英（奴隷労働法）、独（サプライチェーン法）、オランダ、豪州、EUなど）。日本でも「法制化」が必要な時代
- ②技能実習では「外国人技能実習機構」が2017年に設立、監理団体や実習実施者（企業）に対する実地検査開始
機構の実地検査は漸く2020年から本格化、結果を公表
（参考）23年3月末日までの「監理団体の認可取り消し」41件、「改善命令」27件、実習実施者に対する「実習計画取り消し」399者、「改善命令」15実施者
- ③特定技能の最大課題の一つは、入管庁による実地検査の結果が未公表であること

(ロ) 民間の動き

- ①21年12月経団連が企業行動憲章「第4章人権の尊重」を改訂し、「人権を尊重するためのハンドブック」を策定する等、企業の意識改革、自主的取り組みを推進。
- ②日商・東商もセミナーなどを通じ、人権DDの重要性を加盟企業に働きかけ
- ③企業も行動（味の素、花王、トヨタ、清水建設、ミズノ、アサヒ・グループHD、帝人、ソニー、ユニクロ等）

(2) 借金減額、悪徳ブローカーの排除対策

（ベトナム約67万円、カンボジア約57万、中国約53万、ミャンマー約32万、インドネシア約28万、フィリピン約15万）

この2－3年間に日越両国で借金減額やブローカー排除に向けての新たな動き

(イ) ベトナムにおける動き

- ①2021年3月：ベトナム政府査察局は、「外国におけるベトナム人労働者の失踪及び不法滞在の基本的原因として、「労働者が規定（3600ドル）を大幅に超えた手数料（一人当たり7000-8000ドル）を支払っていることがある。これは労働傷病兵社会省や地方政府の職務怠慢であり、送出機関も含めて関係者を特定し、処分を行う」旨発表
- ②2021年11月：ベトナム政府は法律改正（法69）を行い、手数料徴取の禁止、新たな仕組み（実習生の負担費用＝給与の3か月分－管理費（※）3年分）を発表（22年1月1日施行、7月1日以降適用）

新方式を厳格に適用すると、実習生の借金問題は解決可能

※管理費：日本側がベトナムの「送出し機関」に毎月支払う費用、最低月5千円。

新たな仕組みでは、例えば月給が18万円とすると18万円×3か月＝54万円、これから管理費月0.5万円×36か月を引くと実習生の負担額は36万円。管理費を月1万円にすると負担額は18万円、管理費1.5万円では実習生の負担額は「ゼロ」となる。

技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議最終報告書を踏まえた政府の対応について

両制度の在り方については、有識者会議最終報告書を踏まえ、共生社会の実現を目指し、日本が魅力ある働き先として選ばれる国になるという観点に立って、地方や中小零細企業における人材確保にも留意しつつ、以下の方針で検討を進める。

1 総論

- 現行の技能実習制度を実態に即して発展的に解消し、人手不足分野における人材確保及び人材育成を目的とする育成就労制度を創設。
- 企業単独型技能実習のうち、育成就労制度とは趣旨・目的を異にするものもの引き続き実施する意義のあるものは、別の枠組みで受入れを検討。
- 特定技能制度については、適正化を図った上で存続。

2 外国人の人材確保

- 「特定産業分野」に限定して設定。
- 技能実習2号対象職種のうち、特定産業分野があるものは原則受入れ対象分野として認める方向で検討。技能実習が行われている職種のうち、対応する特定産業分野がないものは、現行制度が当該職種に係る分野において果たしてきた人材確保の機能の実態を確認した上で、特定産業分野への追加を検討。
- **(2) 受入れ見込数**
 - 対象分野ごとに受入れ見込数を設定し、受入れ上限数として運用。
- **(3) 設定の在り方**
 - 有識者・労使団体等で構成する新たな会議体の意見を踏まえて政府が判断。
 - 地域・特性等を踏まえた人材確保
- **(4) 地域・特性等を踏まえた人材確保**
 - 自治体が地域協議会に積極的に参画し、受入れ環境整備等に取り組み。
 - 季節性のある分野で、業務の実態に応じた受入れ形態等を検討。

3 外国人の人材育成

- **(1) 人材育成の在り方**
 - 基本的に3年間の就労を通じた育成期間において特定技能1号の技能水準の人材を育成。業務区分の中で主たる技能を定め、計画的に育成・評価。
- **(2) 人材育成の評価方法**
 - 以下の試験合格等を要件とする。
 - ① **就労開始前**
 - 日本語能力A1相当以上の試験（日本語能力試験N5等）合格又は相当する日本語講習を認定日本語教育機関等において受講
 - ※受入れ機関は1年経過後までに同試験（ただし、既に合格している場合を除く。）及び技能検定試験基礎級等を受験させる。
 - ※日本語能力に關しては現行の取扱いを踏まえ各分野でより高い水準を設定可。以下同じ。
 - ② **特定技能1号移行時**
 - 技能検定試験3級等又は特定技能1号評価試験合格
 - 日本語能力A2相当以上の試験（N4等）合格
 - ※試験等に不合格となった者について、最長1年の在留継続を認める。
 - ③ **特定技能2号移行時**
 - 特定技能2号評価試験等合格/日本語能力B1相当以上の試験（N3等）合格
- **(3) 日本語能力の向上方策**
 - 日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律の仕組みを活用するとともに、受入れ機関が支援に積極的に取り組むためのイニシアティブを設ける。
 - A1相当からA2相当までの範囲内で設定される水準の試験を含む新たな試験の導入や受験機会の確保の方策を検討するとともに、日本語教材の開発等、母国における受験準備のための日本語学習支援の実施等を進める。

4 外国人の人権保護・労働者としての権利性の向上

- **(1) 「やむを得ない事情がある場合」の転籍**
 - 「やむを得ない事情がある場合」の転籍の範囲を拡大・明確化するとともに手続を柔軟化。現行制度下においても速やかに運用改善を図る。
- **(2) 本人の意向による転籍**
 - (1)の場合以外は、3年間一つの受入れ機関での就労が効果的であり望ましいものの、以下を満たす場合に同一業務区分内に限り本人意向による転籍を認める。
 - ア 同一の機関において就労した期間が一定の期間（注1）を超えている
 - イ 技能検定試験基礎級等・一定水準以上の日本語能力に係る試験に合格（注2）
 - ウ 転籍先が、適切であると認められる一定の要件を満たす
 - （注1）当分の間、各分野の業務内容等を踏まえ、分野ごとに1年～2年の範囲内で設定。人材育成の観点、1年経過後は、昇給その他待遇の向上等を図るための仕組みを検討。
 - （注2）各分野で、日本語能力A1相当の水準から特定技能1号移行時に必要となる日本語能力の水準までの範囲内で設定。
- 転籍前の受入れ機関が支出した初期費用等について、転籍前の受入れ機関が正当な補填を受けられるようにするための仕組みを検討。
- 転籍の仲介状況等に係る情報を把握。不法就労助長罪の法定刑を引き上げ適切な取締りを行う。当分の間、民間の職業紹介事業者の関与は認めない。

5 関係機関の在り方

- **(1) 監理支援機関・登録支援機関**
 - 監理団体（監理支援機関）について、受入れ機関と密接な関係を有する役職員の監理への関与の制限、外部監査人の設置の義務化等により独立性・中立性を担保。
 - 特定技能外国人の支援業務の委託先を登録支援機関に限定。
- **(2) 受入れ機関**
 - 受入れ機関の要件を適正化。適正な受入れに必要な方策を講ずる。
- **(3) 送出機関**
 - 二国間取決め（MOC）を新たに作成し、悪質な送出機関排除に向けた取組を強化するとともに、原則として、MOC作成国からのみ受入れ。
 - 手数料等の情報の透明性を高めるとともに、手数料等を受入れ機関と外国人が適切に分担するための仕組みを導入し、外国人の負担軽減を図る。
- **(4) 外国人育成就労機構**
 - 外国人技能実習機構を外国人育成就労機構に改組、特定技能外国人への相談援助業務も行わせるとともに、監督指導機能や支援・保護機能を強化。

6 その他

- 制度所管省庁は、制度全体の適正な運用の上で中心的役割を果たす。
- 業所管省庁は、必要な受入れ環境整備等に資する取組を行う。
- 人権尊重行為に対しては現行制度下でも迅速に対処。
- 移行期間を確保し丁寧な事前広報を行い、必要な経過措置を設ける。
- 新制度の施行後も制度の運用状況について不断の検証と必要の見直しを行う。
- 永住許可制度を適正化。



最強の助っ人、ベトナム人若者のリアルな姿

日本橋弁松総本店

代表取締役 樋口 純一 氏

日本橋弁松の歴史

皆さん、こんにちは。1810年（江戸時代は日本橋のたもとに魚河岸がありました）そこで食堂として創業しました。

1850年（嘉永3年）ペリーが来る3年前ですが、3代目の時に業態を食堂から弁当屋に変え、今年で173年目です。私は食事処の初代から数えて、8代目をやらせていただいております。

この170年の歴史の中ではいろんな問題があり、最近ではコロナで大変でした。製造業に分類されるため協力金も何も出ず、今は何とか持ち直してきましたが、もう一つは人手不足です。これは今に始まったことではなく、先代、先々代からずっと悩みの種でした。

祖父の時代に初めて日本橋の三越に出店、父の時代には、高度成長期の流れに乗って高島屋、伊勢丹、大丸へと手を広げ、どんどん売り上げも上がっていきました。売り上げが増えると、製造のほうも大変になって、以前は4時に起きればよかったのが、3時になって、2時になって、今は大体夜中の0時とか1時の出勤です。私もシフトに入れられて、日によって始まりの時間が変わるんですが、今日は、夜中の0時から工場が動いてまして、シフト表には「社長0時、2階」と書いてあったので、しょうがないと思って卵焼きを作ってきましたが。

私が子どもの頃、まだ外国人採用する前は、新潟からの出稼ぎの人たちが来てました。田植え、稲刈りの時期だけ2、3カ月ぐらい新潟に戻って、その他はずっとうちで働いてくれる方が4人いて、1人引退、2人引退して、最後のお一人は80歳ぐらいまで、うちで職人をやってくれまして、何年か前に亡くなりましたけれども。元々そういう方に頼っていたんですね。

父の代の時に築地の魚河岸の知り合いから紹介されて、中国人の留学生の3人兄弟を採用しました。仕事を一生懸命頑張って、すごく助かっていたようなんですね。

ただ会社で借りたアパートを寮としていたんですが、そこの使い方が壮絶で、文化の違いでトラブルになり、その方たちは辞めたんですが。その後も中国人の方が来てました。そこで私の代に変わりました。

私は大学卒業後2年間、新潟の長岡市栃尾という場所で、おじが料亭やっていたまして、2年間お世話になっていました。2年後、弁松に入る前に、入ったら自由がなくなるのを分かっていたから、最後に旅行に行かしてくれと、7カ月ぐらいバックパッカーであちこち行ってきました。

いきなり8代目社長に

その時に初めてベトナムはホーチミンだけ1週間ぐらい立ち寄りました。旅行から帰ってきて1997年の1月から正社員として入社したんです。入社して半年後に父が急死して、いきなり社長になりました。

私の代に変わった時も、まだ中国人の方が多かったですね。その後インド人や、アフリカ系の方とか、別の国の方もアルバイトで採用するようになって、12～13年前ですかね、中国人留学生の最後の方たちが来た頃の1名が言った言葉が印象に残っていますが、一緒に仕事してた時に「社長、これからは中国よ」と言ったんですよ。それからあれよ、あれよと。中国の発展はすごいなと思って。

でもその後、中国人のアルバイトが全然なくなりました。

2011年の1月に日本橋の本店から歩いて20分ぐらいの場所に工場を引っ越しました。引っ越ししてすぐ3月の地震がありました。その時点では、中国人のアルバイトが4人残っていましたが、翌々日には全員中国へ帰りました。

すぐ求人をかけて、その時にミャンマー人の夫婦の方が応募してくれて「あなたたちは地震があったけど帰らないの？」って聞いたら「帰ってもしょうがないから働いています」と言ってくれて。

また、急に帰国した中国人も、1カ月ぐらいしたら戻ってきて、普通に仕事してましたが。

その頃からミャンマー人、エチオピア人、ネパール人など、外国の方たちが増えてきて、最初のベトナム人は2012年9月ですね。

初めてのベトナム人採用

これをきっかけに斡旋業者から「ベトナム人はどうか」と電話があって、取りあえず1名試しに1カ月ぐらい働いてみてもらって、大丈夫そうだったら、また2人、3人とお願いしますと。最初に1人、男の子が入ってきてくれたんですけども、非常に優秀でした。



その当時の人たちは、本当に勉強第一みたいで、日本語もたどたどしい状態で、1人に入ってきて、仕事をしながらメモちゃんと取って、1カ月ですごく成長してくれて、社内の職人たちも、ベトナム人はいいんじゃないかなっていうことになって、2人目、3人目とお願いして、最初の1年ぐらいはその3人が頑張ってくれてとても助かりました。

その後、また何人か採用したら、あとはもう縁故採用のようで、「今度うちの弟が日本来るから、雇ってくださいませんか」「僕の友達どうですか」みたいに、どんどんどんどん増えていきました。

今日現在、工場に在籍してるベトナム人が、社員、アルバイト、それから特定技能を合わせて、ちょうど10名、今月中にビザが下りる特定技能が5名、4月に内定出して、現在ハノイで日本語の勉強中の技能実習生2名がいます。過去の履歴書ファイルを見たら、これまで働いてくれたベトナム人は80人ぐらいです。1日、2日で辞めた人もいますが、私の記憶にあるのは半分ぐらいですか。でも、本当に助かっています。

ゲアン省出身者が多い

私の会社はベトナムゲアン省の人が多いです。昔アルバイトをしていたベトナム人の縁故から採用したので多いんですが、一度ゲアンに行ってみようと思って行ってきました。

学校行った時に教室を見せてもらいましたが、各フロアの壁に日本のルールのような「ゴミをちゃんと捨てろ」などが貼り付けてあるんです。特に感銘を受けたのが、5つのルール「ウソをつかない」「けんかをしない」「賭け事をしない」「盗まない」「失踪しない」これは基本中の基本だと思いました。

正直に言うと、今在籍している人たちは、ウソはつきますね。ベトナム人だからというわけではないですが、しょっちゅう細かいウソはつきます。ゲアンの人が多いですが、クリスチャンの人が多いんです。賄いを食べる時にお祈りし、2〜3人は毎週日曜日に四ツ谷の教会に行くんです。

私は「教会に何しに行くの」と言うと「お祈りしに行くんだ」と「今週、これとこれとこれのウソをついたから神様に謝りに行くんですか」と聞くと「そうです」。「神様は許したとしても、だまされた社長は許しませんよ」って、いつも注意するんですが。信仰熱心なんですよ。

この技能実習生の送り出し機関の社長さんに初めて会った時に、「ベトナム人はみんな深く考えないで行動しますので、そこは怒らないでください」これは気質なのでご了承いただきたいんですと言われま

した。

確かにそうです。良くも悪くも、日本人からすると、行動力の早さは逆に見習いたい。何かアイデアを思いついたら、次の日には実行しています。少し考えたらという時もあるんですが、ぱっぱとやっちゃうんですね。上手くいく時もあれば、損する時も。でもそこに勢いというか生命力みたいなものを感じます。時には日本人の若者を採用できることがあります、覇気というか、気概がもう少しで。その点ベトナム人は日本人より強くていいんじゃないかな、そんな印象を受けています。

私の会社に来る人は、20歳そこそこ、せいぜい20代後半が多く、まだ物欲が強くて、靴だ、時計だとかまず物が欲しい。その辺が満たされてくると、今度は美容・健康のほうに行って、その後は車や家になってきますが、日本人も同じだと思います。

日本側の会社も

彼らがウソついたり、失踪したり、何でそうしてしまうか、彼ら自身に原因がありますが、日本の会社側にも問題があるケースが多いと思います。

会社にいる技人国の社員から聞いたのですが、以前、大阪の方の現場にいた時に、失踪した技能実習生のベトナム人がいて、「何で失踪したのか」と聞いたら、現場で日本人に殴られたと言ってたそうです。既にこのベトナム人は警察に自首して帰国しているそうです。

ゲアンに行った時は、元技能実習生だった人が通訳やガイドをしてくれたのですが、「日本にいた時に日本人と交流したり、飲みに行ったりしましたか」と聞いたら「一切なかった」と。技能実習生として先に来たベトナム人が、トラブルを起こして、その会社は「ベトナム人は嫌だ」という雰囲気になっていて、日本人と交流ができずに帰ったと、ちょっとかわいそうだなと思いました。

外国人を下に見ない

私の会社で働く日本人には、外国人に対して絶対に下には見ないというスタンスで働いてもらってます。現場の外国人は日本語があまりできないと、「やっぱりおまえ、使えないな」となるのですが、たどたどしい日本語でも、それだけ日本語ができること自体、すごいと思うんですね。

逆に私がベトナムに行って、ベトナム語を覚えて、やっていけるかっていうと、大変なことだと思います。だから日本に来たばかりで日本語ができないのは当たり前です。少しずつ上達してくればいいので、絶対に下には見ないようにしています。

ゲアン省

ゲアンに行った時、今回採用する技能実習生の家庭を訪問して、その家には私の会社を卒業した人もいる家でしたが、とても盛大な接待で、同行したガイドさんも、こんなにもてなしてくれたのは初めてだと言っていました。

採用する技能実習生の家庭を訪問していますが、リアルなベトナム人の生活を見ることができました。ゲアン省というのは、ベトナムの中でも特殊な地域とは聞いていましたが、時間の流れが全然違います。ゲアン省の人は、朝起きたら、まずカフェに行く。フォーを食べてカフェに行って、ちんたらちんたらしてやっと働く。それで一日無事過ごせて生活できてしまうから、それはそれでいいんだなと思いました。私もガイドの人も、ちょっと退屈過ぎて、ここで住むのは無理かなって。もうちょっと忙しいほうがいいというのが感想でした。

「なぜ、うちの会社で働くか?」「なんで日本に来たか?」「日本・日本人の嫌いなところ?」

今日の講演を前に、うちで働くベトナム人たちに「今日は、こういう会に呼ばれて、たくさんの人の前で、あなたたちの勤怠とかいろいろ話してきますよ」と言っています。

そのために事前は無記名でアンケートを取ってきました。アンケートの項目が3つ、

「なぜあなたは弁松で働いているんですか?」。「なぜあなたは日本に来たんですか?」「日本と日本人の嫌いなところは?」。

まずは「なぜあなたは弁松で働いているんですか?」。

1位が「社長が優しいから」でしたね。

これ本当かよと。優しいかはわかりませんが、気を付けているのは、特に病気になった時、大事な病気かなという時は、必ず病院に同行してます。少しでも身体に異常があったら、血液検査をやったほうがいいって病院に連れていく。そういうのが、優しいって書いてくれたのかもしれないです。

2位が「稼げるから」

夜勤が多い、深夜手当が付くので昼間より稼げます。それから「既に兄弟や友達が働いてるから安心」という感じですかね。

3位「待遇がいい」何の待遇がいいかわかりませんが、一つは、朝のお弁当詰め終わったら、賄いをみんなで食べます。和食に関係なく、カレーや中華があり、ベトナム料理に似たものも出ます。たぶんそういう部分を評価して言ってくれてるのかなと思います。

私はベトナム人たちとよく一緒に温泉に行きます。スーパー銭湯とか。特に面白いのが、最初のリアクションですね。全然平気で一緒に入る人もいれば、途中でどこに行くか理解して、温泉がどういう状態なのか分かると、逃げる人もいました。「私いいです」と。頑張ってる入ろうとしますが、入口が近づくにつれて、涙目になって「私、やっぱり待ってます」そういう人もいました。

でも、2回目、3回目になると、頑張ってる一緒に入って、一回入ると「初めて足を伸ばしてお風呂に入った」「サウナも気持ちいい」。今は私抜きでベトナム人の友達同士よく銭湯へ行っている人もいます。これは日本の文化体験をしてもらいたい趣旨もあって連れて行きます。

2つ目の「なぜあなたは日本に来たんですか?」には「お金を稼ぐため」、これは当たり前ですね。ベトナム人は家族思いで、稼いだお金は自分の小遣いでなく、大体仕送りしてるんですよ。留学生だと、大体借金して来てる人が多いので、借金の返済と学費で大変です。

3つ目「日本と日本人の嫌いなところは?」。これはたくさん書いてあったんです。「すぐ怒る、厳しい」「口だけで働かない人」「働く時間が長い」「面白くない」私たちが一緒に仕事すれば付いてきてくれると思いますが、自分だけ楽（らく）しようとすると、すぐ離れるかなと思います。

それから、日本人は指示などを、曖昧な表現をする時がありますが、それをどう受け取っていいかわからないことがあると思います。「良い・悪い、やる・やらない」をはっきり言うことが大事です。

私はベトナム人のテレビニュースはよくチェックしていますが、冗談で「昨日グエンさん、梨を盗んだでしょう」と言う「私は良いグエンさんです」と言うんです。ベトナム人は、真面目な人が圧倒的に多いと思います。

まとめ

最後になりますが、私の会社の中には日本に定住を希望してる人もいます。ここで住んで子どもを育てる気があれば、会社もきちんとサポートしていきたいです。

グエンに行った時、うちの卒業生たちに「また日本に来て働かない」と言ったら「日本は働いたり、住む場所ではなく、旅行する国だ」と言ったんです。これには考えさせられました。

日本で一生暮らしたいという外国人には、どんどん道を開いていただきたいと思います。

これまで会社は170年やってきましたが、先代たちはベトナム人が卵焼いているとは、想像していなかっただろうと考えると、非常に面白いと思っています。そのうちベトナム人で生粋の職人が生まれてくれると、すごい楽しいなと思ってます。ご清聴ありがとうございました。

「総説」黒毛和種牛肉の輸出課題に向けた科学的なデータの集積 ー日本とベトナムの新たなパートナーシップに向けた取り組みー

神戸大学大学院農業研究科 助教 上 田 修 司

I. はじめに

2023年の日本の農林水産物・食品輸出額は、円安が追い風となり、前年比2.9%増の1兆4,547億円であった。牛肉の輸出額は、アルコール飲料、ホタテ貝に続き、上位3位に位置する。牛肉の輸出量は、2023年上半期が前年同期比で23.2%増の3759トン、輸出額は22.2%増の257億9093万円と大幅に増加した。この増加には、レストラン需要の回復や円安の影響が背景にある。国別では、台湾、香港、マレーシア、アラブ首長国連邦への輸出の増加が顕著であり、今後はベトナムを含む東南アジアへの更なる輸出拡大が期待される。牛肉の輸出は、ロース肉が中心で、チルド肉は2022年同期比で7.9%の増加、フローズン肉は40.1%の増加となった。台湾では、ロース肉以外のモモ肉、バラ肉への需要が広がっており、2023年の輸出実績は2019年を大きく上回った¹。

黒毛和種牛肉は、海外市場において品質、安全性が高く評価されている。現在、輸出先の多角化を進めており、従来の欧米を中心としたロース系の輸出だけでなく、ベトナムなど東南アジアに向けて様々な部位の輸出に注目が集まっている。

II. ベトナムの市場について

ベトナムは、国土面積で世界65位、東南アジアでは4位であり、日本から九州を除いた面積に等しい。人口は、2022年から83万4800人が増えて、約1億30万人で、2040年には日本の人口を超える見込まれている。現在、ベトナムは、急激な経済成長を遂げており、実質国内総生産（GDP）は、2018年から2030年に91%成長することが見込まれている。家計の年収においては、3万5千ドル

以上の富裕層の拡大が続いており、消費支出が急増している。特に、超富裕層の100万米ドルを超す資産を保有する人口は、2019年に約2万5千人であったが、2024年には4万2千人に増加する見通しである。このような富裕層の拡大は、ベトナム国内での食肉消費の増加に拍車をかけている。

ベトナムの食肉加工品は、現地の風土に根ざした伝統的な食肉加工品と、海外から導入された工業的な食肉加工品に分類される。伝統的な食肉加工品には、ベトナム風ハムのチャールア（cha lua）、ジョートウ（gio thu）、ベトナム風発酵ソーセージのネムチュア（nem chua）、ネムナム（nem nam）などがある。また、乾燥肉として、鶏のホーガー（kho ga）、牛のホーボー（kho bo）がある。

ベトナムの食肉加工品の特徴は、豚肉、牛肉、鶏肉を原料とした様々な食肉製品が普及していることであり、特に豚肉製品は人気である。ベトナムの人口は平均年齢が若いため、食肉メーカーは若者をターゲットにしたトウモロコシ味、チーズ味、バーベキュー味など新しい風味を添加した食肉加工品を多く展開している。この点は、日本の食肉文化と異なり、ベトナム市場は、肉本来の味よりも、「甘い」、または「濃い」味付けが特徴である²。

一方で、アジア全体で共通した課題として、子供、高齢者向けの製品を中心に健康志向が広がっている。今後のベトナム市場においても、これまでの「おいしさと価格」を重視した購買から「新鮮、安心、健康」を意識した新たな価値観にシフトが進むと予測される。この潮流は、ベトナムの黒毛和種牛肉の市場でも同様の兆しが認められ、従来の「霜降り重視」から「生鮮食肉での流通、

より安全・安心な産地表示、健康的な食習慣との結び付き」など、様々な要望が挙げられている。

我が国の畜産物の輸出において、品質の差別化は重要である。今後は、ベトナムの消費者の嗜好性、利便性に合せた製品の開発は不可欠な課題である。我々は、産官学で取り組む「黒毛和種等国産食肉の適正管理技術の研究開発プラットフォーム」を発足し、黒毛和種牛肉の輸出に向けた活動として、和牛の生産地の判別方法の開発や、鮮度保持フィルム包装食肉の開発を進めている。

本稿では、ベトナムに進出する日系企業、及び日系企業とパートナーシップを検討しているベトナム企業の方々に向けて、我々の研究成果を報告したい。

Ⅲ. 黒毛和種牛の生産について

日本の和牛には、「黒毛和種」、「褐毛和種」、「日本短角種」、「無角和種」の4品種が存在する。日本で生産される和牛の97%以上が黒毛和種品種であり、一般的に和牛と言えば黒毛和種である。黒毛和種は、日本の在来種として、気候と環境に順応し、進化してきた³。黒毛和種の特徴は、筋肉内脂肪による優れた霜降りと、加熱調理時に生じる甘い香りである。この霜降りは、黒毛和種特有の遺伝的な形質であり、世界中の畜産農家の関心を集めている。

霜降りは、消費者にとっても、牛肉の価値を決める重要な要素の一つである。霜降り肉を効率的に生産する方法として、黒毛和種と他品種を交雑させたハイブリッド和牛が用いられる。海外で生産される黒毛和種品種の殆どは、何かしらの他品種と交雑させたハイブリッド和牛である。交雑させる品種の組み合わせは、生産地域の環境に適した品種が選ばれる。日本のハイブリッド和牛は、交雑牛と呼ばれ、ホルスタイン・フリージア種と黒毛和種の交配がほとんどである。オセアニア地域では肉質の良いアンガス種、東南アジアでは熱

帯種のブラーマン種と交雑させるケースが多い。

日本では牛は牛舎で管理され、繁殖、育成、肥育期間を経て、出荷される。肥育期間には、肉質が良くなるように、穀物飼料が与えられる。日本では、通常は月齢28ヶ月以上で出荷される。ハイブリッド和牛は純血種の黒毛和種と比較して、食味性は落ちるが、体の成長が早く、肥育期間を短縮できる利点がある（肥育26ヶ月齢以下）。近年、世界的なインフレの影響を受けて、牛の飼料価格が高騰している。不可価値の高い家畜の生産方法として、ハイブリッド和牛が注目されている。

世界の食肉市場で流通する Wagyu は、日本国外で生産されたハイブリッド和牛である。我々が調べた牛肉の霜降りと遺伝子違いについてデータで示す（図1）。

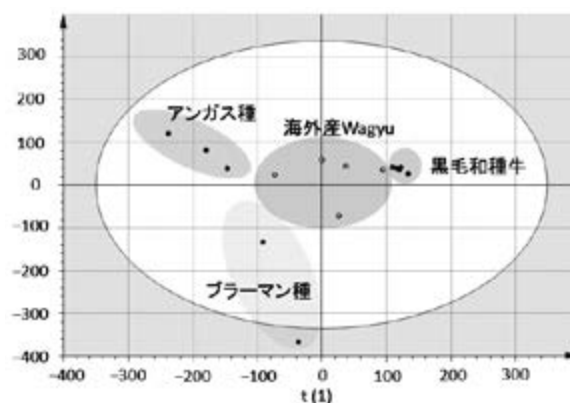


図1. 黒毛和種と担品種の遺伝的多様性

ウシの品種間の遺伝的な違い。各プロットは、それぞれの品種毎の遺伝的な特徴を示す。プロットが近いと遺伝的に類似していることを意味する。海外産Wagyuは、日本国外で生産されたハイブリッド和牛を示す。

引用論文4より一部改正し掲載

Ⅳ. 牛肉の保存と輸送について

牛肉の輸出において、生産拠点から輸出先までのロジスティクスの効率化が重要である。牛肉は、食肉センターで解体後に冷蔵保存することで熟成が進む。この熟成過程は、生肉から牛肉の持つ本来の肉らしい風味に変えることが知られている。我々は、この熟成中に生じる「牛肉の風味の変化」と「栄養成分」の関係について、各種成分解析を行った⁵。その結果、牛肉は、低温保存期間が長

くなるにつれて「うま味とコク味」が増え、それによって様々な栄養成分が増加することを明らかにした（図2）。牛肉を冷蔵で輸出する場合、熟成に最適な保存設定が牛肉の肉質を保つ秘訣かもしれない。この保存設定は、肉の品種、部位によっても異なるため、条件検討が我々の今後の課題である。

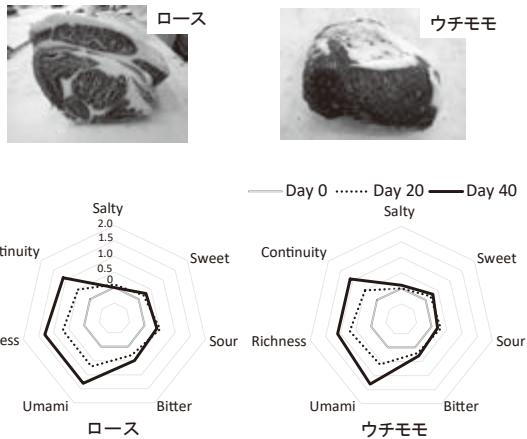


図2. 黒毛和種牛肉の熟成による味の変化

（写真上）牛肉のロースとウチモモの写真

（図）低温熟成日数の異なる牛肉の食味評価

引用論文5より一部修正し掲載

また、我々は、牛肉の輸出における包装材について研究を進めている。牛肉の輸出は、現在、部分肉と呼ばれる大きな塊肉の状態配送している。しかし、どこの国でも肉切り職人が不足していることから、今後は牛肉を食べやすいサイズにリテールカットした状態で輸出するケースも増えることが予想される。

我々は、冷凍保管でも肉質が劣化しにくい包装方法として、スキンパック包装と呼ばれる真空フィルム包装の開発を進めている。この方法であれば、牛肉に高性能なフィルムが密着するため、雑菌の繁殖を抑えることができ、冷蔵保存であっても、消費期限を10日以上に延長させることが可能である（図3）。

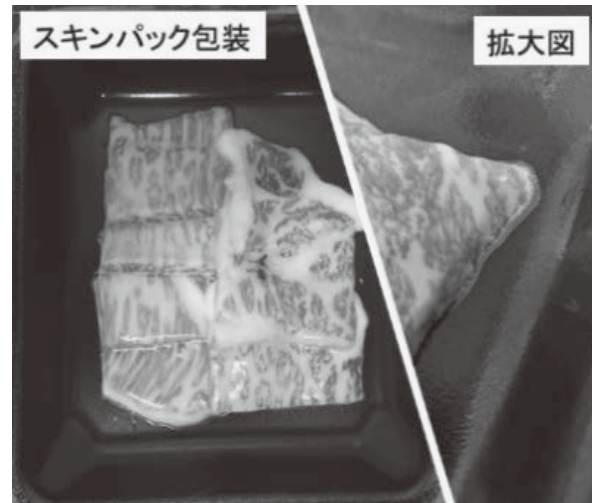


図3. スキンパック包装した牛肉

〈引用〉

1. 安東 利華 ビジネス短信（2024年01月31日）発行：日本貿易振興機構
2. 国産食肉加工品国際競争力向上・製造基盤強化対象事業 海外衛生制度等実態調査報告書（2022年3月）発行：日本ハム・ソーセージ工業協同組合
3. 上田 修司 畜産コンサルタント（2021年7月号）p32-36. 発行：中央畜産会
4. Ueda S. et al., *Metabolites*, 2022, 12 (9), 777
5. Ueda S. et al., *Metabolites*, 2024, 14 (2), 95

〈謝辞〉

執筆の機会を提供して頂きましたベトナム協会の皆様にお礼を申し上げます。また、日越交易のパートナーシップの構築のため、尽力頂いたベトナム大使館のタドクミン商務参事官に感謝申し上げます。抱負として、世界的な物資のインフレ、脱炭素課題の解決に向けて、優れた日本の農業技術を次の世代に継承していきたいと思ひます。ベトナムの方々と共に、明るい未来を築いて行きたいと思ひます。



タインホア省のチャム舞踊（占城伎）の里を訪ねて

東洋大学アジア文化研究所客員研究員
新 江 利 彦

在越日本国大使館広報文化班専門調査員だった2023年11月下旬、関西大学東西学術研究所非常勤研究員・宮嶋純子女史とふたりで、ベトナム〔越南〕の中部北端（北部南域）、タインホア省〔清化省〕の寺社、洞窟、離宮、古城址とチャム舞踊（占城伎）の里を訪ねた。

以下、そのときのメモを、ベトナム文化に関心のある皆さんと共有したい。訪問にあたり、タインホア省文化体育観光局長〔清化省文化体操遊歴所監督〕ファム・グエン・ホン氏〔范元鴻〕氏、タインホア省勧農センター職員で書家・字典研究者ホアン・トゥアン・コン〔黄俊功〕氏、ギソン〔宜山〕電力公社社会部職員で郷土史家レー・スアン・ヴァン〔黎春文〕氏、チュア・マツト（大悲寺）住職の上座ティク・タム・ヒエン〔釈心賢〕師、タインホア市ドンケー社ヴィエンケー村〔清化城庸東溪社円溪村〕優秀芸人レー・バー・トゥアト〔黎文茂〕氏、トースアン県スアンチュオン社スアンファー村〔寿春県春長社春譜村〕優秀芸人ブイ・ヴァン・フン〔裴文雄〕氏の皆さまに、大変お世話になりました。感謝申し上げます。

2023年（令和五年癸卯）は、西暦を避けるベトナムの寺社の棟札にある慣習的な年号に倣えば、共和社会主義越南七十九年癸卯（その元年は1945年）だった。この年、日越外交関係樹立五十周年を記念する各行事が盛大に行われた。わたしも、2023年10月11日水曜日に、ヴァンフック〔万福〕通りのハノイ〔河内〕在越日本国大使館広報文化センター二階セミナールームで、チャム伝統継承楽団（Kawom Khik Nam Krung）の表演、NPO 学び舎つばさ、ハノイ歴史研究会との共催による、「チャム舞踊を通じた日本雅楽・林邑楽の紹介」イベントを担当した。その月末、10月28日土曜日、メーチャー〔米池〕通りのハノイ音楽院四階ホールで、ハノイ〔河内〕の民間シンクタンク「文化言語教育発展研究院」（CLEF）が、日越民謡祭典と、中・高・大学生・社会人の訳詞競技会授賞式を行った。わたしは長年の年上の友人であるCLEF役員ゴー・トゥー・ラップ〔呉自立〕氏に誘われて、8月ごろから、祭典のため、複数の日本とベトナムの民謡の和文越訳、越文和訳を担当し、訳詞競技会の審査に携わり、またベトナム人歌手によるベトナム民謡日本語訳の歌唱を監修した。このとき、ラップ氏の故郷タインホア省の有名な青年男女の逢引きの歌「田植えの歌」（ディーケーイー, ãi cấy）を日本語訳して、この歌とチャム舞踊に関わる不思議な伝承を知った。この歌は、十七世紀なかば、黎朝教坊（宮廷音楽院）の女性舞踊家ファム・ティー・フエ〔范氏恵〕が、タインホア省の旧ドンソン県ドンアイン社〔東山県東英社〕、いまタインホア市ドンケー社ヴィエンケー村〔清化城庸東溪社円溪村〕と、トースアン県スアンチュオン社スアンファー村〔寿春県春長社春譜村〕に伝えた、旧暦正月十日～十二日に表演される「東英民舞」（Dân vũ Đông Anh）または「春譜伎」（Trò Xuân Phả）と関連する、「燭台舞」（múa đèn, 灯籠踊り）につけられた歌と言われている。

また、これらの舞楽の各演目は、呉国伎、秀丸伎（陸渾戎伎）、哀牢伎、花郎伎（荷蘭伎＝オランダ舞踊）、占城伎（暹城伎＝チャム舞踊）からなる、黎朝神宗皇帝（在位1619-1643、踐祚1649-1662、当時の宮

廷内最高実力者は神宗の正室で字書編纂者としても知られる玉竹の父・鄭樞の五人の外国人皇妃（側室）に因む、「五国伎」（Trò Ngũ Quốc）と呼ばれている。

2023年11月25日土曜日早朝、わたしたちはベトナム国有鉄道南北統一特急SE7の寝台車でハノイ駅からティンホア駅へ向かった。ドンソン〔東山〕銅鼓の名の由来でもある清化東山寺や、618年（隋の大業十四年）の碑文に関わる東山黎玉祠を訪ねたわたしたちは、午後、ドンケー社ヴィエンケー村で村人による優美な「燭台舞」の踊りと「ディーケーイー」の歌を聴き、感動した。翌26日日曜日午前、わたしたちはティンホア駅に近いチュア・マツ〔清化密山大悲寺：1909年の「大南一統志」の表記は大碑寺〕を訪ね、住職・上座であるティク・タム・ヒエン〔釈心賢〕師の案内で、本堂に安置されている黎朝神宗皇帝、正室（皇后）鄭氏玉竹と、呉国皇妃、秀丸皇妃、哀牢皇妃、花郎皇妃、占城皇妃の、計六体の木像と対面した。占城皇妃はやや角ばった柔らかな顔つきで、美しく豪華な装飾を身に着けた姿に彫られている。日本の明治維新初期（慶応四年）、神仏分離令（1868）のもと、静岡県や鹿児島県など水戸学・国学が盛んだった地域で、極端な廃仏毀釈が行われた。ジュネーブ協定（1954）・南北分断以降、迷信異端根絶という名目のもと、北ベトナムでも一部宗教施設の破壊が行われたが、これが最も徹底的で、洞窟寺院を除く省内ほぼすべての寺院建築（本堂）が破壊（と米軍機の空爆）で失われたのが、ティンホア省だった。洞窟寺院チュア・マツの山麓の本堂の古風な仏像・人像は、破壊の際に博物館担当者やバンホイ（bản hội, 檀家組織）が回収して本堂再建の際に返還し、また聞き書きに基づいて複製したものという。

2023年11月27日月曜日、旧暦十月十五日午前、わたしたちはスアンチュオン社人民委員会副主席・兼・スアンファー村優秀芸人ブイ・ヴァン・フン氏〔裴文雄〕の案内で五国伎のうちの占城伎（チャム舞踊：Trò Chiêm Thành）と花郎伎（オランダ舞踊：Trò Hoa Lang）を鑑賞し、二伎の全部をビデオ録画することができた。スアンファー村の五国伎の占城伎は、群舞で、かつ二行対立奏である点で、中部高原の水牛供儀などで演奏される伝統舞踊や、「東大寺要録」（c.1134）に記録された日本雅楽・林邑楽の「迦陵頻伽」の舞いに似る。また、神おろしを行う霊媒が着る紅衣を着用し、紅扇子を手に持ち、勇壮な仮面劇的性格をもつ点で、同年10月11日にハノイ在越日本国大使館広報文化センターでチャム伝統継承楽団（Kawom Khik Nam Krung）により表演されたチャム正月のリジャースガン儀礼（旧暦三月初めの上巳の節句）など中部南端ニントゥアン省ファンラン地域〔寧順省潘郎地域〕のチャム舞踊に通じる。リジャースガンには人形流しなどの儀礼も付随し、時期も内容も上巳の節句に似るが、字義的には「国の祈願」を意味し、ベトナムや中国の太陰太陽暦＝旧暦正月前の除夜（本来は太陽暦の冬至）の「国難」に通ずる。一方、『ブラフマ・プラーナ』によれば旧暦三月＝チャイトラ月一日は梵天による国生みの日であり（チャム語ヌガンnagarは国の意である）、ヒンズー正月である。花郎伎（この花郎は新羅の貴族組織の花郎ではなく、欧州人一般を指すアラビア語由来の漢語「仏狼機」（Frānkis فرانكس）の転化か）には、長崎くんちの「出島町阿蘭陀船・船回し」祭事における、櫂つき帆船（ピンネース/Pinas?）が舵を切る様子を再現したものを、船の模型を使用せず、櫂の動きだけで再現し、実に勇壮、圧巻だった。

午後から翌日にかけて、わたしたちは黎朝ラムキン離宮〔黎藍京〕、胡朝ティンニャーホー城址〔胡城〕、カムトゥイー県チュア・マウ洞窟寺院〔錦水妙山寺〕や、阿倍仲麻呂のベトナム在任中に科挙（進士）に合格し（764）、長じて状元に合格して（780）、唐の徳宗皇帝の宰相（同中書門下平章事）となった姜公輔を記念する安定姜状元祠を訪ね、またティンホア省文化体育観光局副局長主催の意見交換会・昼食会へ出席した。昼食後、2023年11月28日火曜日午後、わたしたちは特急SE8の寝台車でティンホア駅からハノイ駅へ戻った。



左写真：中部北端タインホア市〔清化城庸〕中心部、チュア・マット〔清化密山大悲寺/大碑寺〕本堂に安置された黎朝神宗皇帝像（上段中央）、鄭氏玉竹皇后像（上段左）と、史料上はその存在が確認できない五人の外国人皇妃の木像。下段左から三番目が占城皇妃と伝えられる（2023.11.26, 筆者撮影）。

右写真：2023年11月27日月曜日（旧暦十月十五日）、中部北端タインホア省トースアン県スアンチュオン社スアンファー村〔清化省寿春県春長社春譜村〕のゲースアンファー（Nghè Xuân Phả, 春譜亭）境内で表演されたチャム舞踊（占城伎）における舞人の服装（筆者撮影）。



伝承上の黎朝教坊の舞踊指導者ファム・ティー・フエ〔范氏恵〕はなぜ占城伎などの五国伎をタインホア省ドンアイン社ヴィエンケー村〔東英社円溪村〕とスアンチュオン社スアンファー村〔春長社春譜村〕に伝授したのだろう。タインホア省内にはヴィンティン社〔永盛社〕など十五世紀末のチャム人（占人）捕囚の入植地と伝承されている地域もあるが、そこに占城伎は伝承されていない。以下、占城伎がこれらの村々に伝えられた理由を考えてみる。

1619年（黎朝弘定二十年己未）、鄭樞の父・鄭松は、末子・鄭椿との父子争いの末に、鄭椿に与した黎朝敬宗皇帝（神宗の父）を自殺に追い込んで永祚と改元し、母方の従兄弟にあたる阮福源に「弑逆」（朝敵）と決めつけられた。このとき、黎朝大越帝国は、トンキン（東京）の鄭氏が黎朝を傀儡化して統治する北ベトナム（ダンゴアイ国、北河国、タインホアを含む）と、コーチシナ（広南）の阮氏が統治する南ベトナム（ダンチョン国、南河国）に分裂した（敬宗の死までは統合が維持されていた）。日越外交関係樹立五十周年記念事業のひとつ、オペラ「アニオー姫」は、敬宗自殺の直後に阮福源が作成した「日本人船主宗太郎を養子阮太郎とする」という誓書に基づく、荒木宗太郎と阮福源の膝下（庶女または養女、荒木家ではアニオーさんと呼んだ）の結婚に取材する。クリストフォロ・ボッリの記録によれば、阮福源はカンボジア王チェイチェッタ二世にも庶女を嫁がせ、オランダ連合東印度会社（VOC）文書によれば、カンボジア王妃は長崎（アニオー？ またはその娘ヤス？）と直接連絡をとりあっていた。



2018年10月08日付『西日本新聞』掲載、長崎県長崎市、諏訪神社「長崎くんち」で表演された阿蘭陀船・船回し。

チャムの伝承によれば、阮福源（阮王、パタオ・ユアン）はチャム王ポーロメーにも王女ビアーウットを嫁がせている。この広南阮氏の国際閥閥ネットワークに対抗し、東京鄭氏がつくった国際的なネットワーク（国境内外の有力少数民族やオランダとの協力）が、神宗の五人の外国人皇妃という民間伝承

の元になったのではないだろうか。

驚くべきは、その表演内容である。日本雅楽の林邑楽は、ベトナムの中部一帯を支配したチャム国（チャンパー国、漢字表記は崑崙国、林邑国または占城国など）の寺院舞楽の調子や舞踊が八世紀の日本に持ち込まれたと思しく、752年の奈良東大寺の大仏開眼礼における「迦陵頻伽」の表演は二行対立奏だった。一方、十七世紀のチャム舞楽を反映すると思しい中部北端タインホア省の占城伎もまた、中心の祈祷師独舞を除けば、二行対立奏である。その衣装と持物（紅衣と紅扇子）は、現在の中部南端ニントゥアン省ファンラン地域〔寧順省潘郎地域〕のリジャーヌガン儀礼におけるチャムの舞人祈祷師のそれと、ほぼ同一である。

リジャーはアラビア語で祈願、祈祷を意味する *rajā* (رجا) の借用と思われ、祈祷師が神おろしする主な神霊は留学先で客死したイスラーム神学生たち（アラビア語 *tulāb* طلاب）である。

広南阮氏の系譜や正史「大南寔録」前編には（庶出の子孫は記載されないためか）、日本に嫁いだアニオ姫やチャムに嫁いだピアウット姫に関する記載はなく、黎朝の系譜や正史「大越史記全書」続編などの史料上も、五人の外国人皇妃の存在は確認できない。しかし、オランダ商館長日記には、1637～38年のオランダ人商人のタインホアにおける活動について、複数の注目すべき記述がある。1637年8月に、オランダVOC商人であるカレル・ハルツィンク（Carel Hartsincq）がトンキン国王（東京鄭主・鄭樵）から「義子」（養子）の称号を受け取ったことが記録されている（Nguyen The Anh, 1964: 61. f° 85. Acte waerbij den coopman Carel Hartsincq van den coninck van Toncquin tot stijn geadopteerde soon verdaert ende aengenomen wert.）。また、1638年4月には、この、鄭樵の義子となったオランダVOC商人カレル・ハルツィンクが清華（いまタインホア/清化）で買い付けを行ったことが記録されている（「オランダ商館長日記訳文編之三（下）」（東京大学出版会, 1978所収：カレル・ハルツィンク航海日記（1637.2.20～1638.8.26））。黎朝神宗皇帝の五人の外国人皇妃に関する民間伝承が史実の一端を反映しているとすれば、荷蘭（オランダ）皇妃の父親は商人と言い伝えられていることから、彼女の父親はカレル・ハルツィンクまたはその姓名不詳の同僚に比定できよう。なお、このときベトナムでカレル・ハルツィンク通商代表団の通訳を務めたマカオ（澳門）の日系女性ウルスラについて、彼女がオランダ人として宣誓したという記事がカレル・ハルツィンク航海日誌に記載されている。マカオの日系女性ウルスラが、ポルトガル人と日本人の混血女性ではなく、オランダ人またはオランダ語を話すローマ公教（カトリック教）信者、たとえばフラマン人（ベルギー人）と日本人の混血女性だったとすれば、民間伝承上の黎朝神宗皇帝のオランダ皇妃のモデルは日系女性ウルスラとも考えられよう。

当時、東京鄭氏・広南阮氏やカンボジア王はしばしば商人に養子認定を發していた。オランダVOC商人カレル・ハルツィンクのタインホア〔清華、いま清化〕での活動に先立つこと25年前、黎朝永祚六年（1624）の、鄭樵から日本人商人である義客（養子商人の称号？）弥右衛門宛の令旨に「許…赴京拜稟買賣」（京へ赴き拜稟し買売するを…許す）という文章がある。そのころ、東京領内の日本人寄港地は父安復礼港（ゲアン・フクレー港）だった。

この港は昇龍京（ハノイ/河内）へ陸路で向かうには遠すぎる。また、越南の慣習を考慮すれば、天使（中国使節）以外の外国人に「赴京」許可が出るとは考えにくい。この手紙に言う「京」とは、河内の昇龍京ではなく、清華（清化）における黎帝（神宗皇帝）の行在所、即ちトースアン県〔寿春県〕の黎安場府または後の黎万頼府〔Kinh đô Vạn Lại-An Trường, いま寿春県順安社, Xã Thuận Minh, Huyện Thọ Xuân〕を指すのではないか。そうであるならば、それは父安復礼港から遠くなく、日本（およびオランダ）の商人は、珠江（Sông Chu, 部分により Sông Lương 梁江ともいう）を介してそこ

に到達した可能性がある。五国伎がトースアン県のスアンファー村や旧ドンソン県（いまタインホア市）のヴィエンケー村に伝えられた理由は、そこが当時の黎朝または鄭氏領の第二首都だったアンチュオン〔黎安場府〕や、ヴァンライ〔黎万頼府〕あるいはラムキン離宮〔黎藍京〕と、とくに川を使った水上交通において便利だったからであり、村人である舞人たちは、皇妃（側室）たちの生前にはその無聊を慰めるため、彼女たちの死後にはその祭事として舞踊を伝授されて、それらの地に赴き、舞いを舞ったと、そう言い伝えられたのではないだろうか。

以上

謝辞。本稿は、文部科学省学術振興会科学研究費補助金研究課題「ベトナム北部地域における寺院所蔵典籍および木版版本の調査研究」、「ベトナム刊行仏典よりみる近世近代東アジア仏教典籍刊行史の研究」（研究代表者 宮嶋純子）と、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）共同利用・共同研究課題「ジャワ語及び東南アジア諸語テキストにみる「イスラーム化」前期」（研究代表者 菅原由美）の成果の一部です。発表の機会を与えて下さったベトナム協会に感謝申し上げます

参考文献

- Aymonier, Etienne, 1889. Shakkahraay dak rai putau in “Grammaire de la Langue Chame,” *Excursions et Reconnaissances* XIV-31, pp.5-92. Saigon: Imprimerie Coloniale.
占王編年史.
- Cao Xuân Dục et al., 1909. *Đại Nam Nhất Thống Chí*, Quyển 16-17 (Thanh Hóa Tĩnh Chí).
高春育等撰『大南一統志』巻十六、十七「清化省志」（上・下）印度支那研究会1941.
- Đảng Ủy Xã Xuân Trường, 2022. *Lịch sử Xã Xuân Trường*. Thanh Hóa: Nhà Xuất bản Thanh Hóa.
春長社黨委等『春長社歴史』
- Historiographical Institute of the University of Tōkyō, 1978. *Oranda Shōkancho-nikki Yakubunhen-no San*. Tōkyō: Tōkyō-daigaku-shuppankai.
東京大学史料編纂所『オランダ商館長日記訳文編之三』（上、下）東京大学出版会1978.
- Kikuchi Seiichi, 2005. Vietnam Thanh Hoa Kochōjō-no hakkutsu-chōsa: Jūgo-seiki-no ō jōseki, *Tōnan-Asia kōkogaku-kai kenkyū-hōkoku* (3), pp.53-63. Tōkyō: Tōnan-Asia kōkogaku-kai.
菊池誠一「ベトナム、タインホア胡朝城の発掘調査：15世紀の王城跡」
- Nguyen The Anh, 1964. *Bibliographie Critique Sur Les Relations Entre Le Viet-Nam Et L'Occident* (Ouvrages et article en langues Occidentales).
阮世英「越南・西方關係に關する批判書誌」（西方諸言語史料集）。
- Nishimura Masanari, 2012. Historical formation of Vietnam viewed from the South: Role of Central Vietnam (Champa) and Southern regions of Northern Vietnam (Thanh Hoa and Nghe An), *Shūen-no bunka-kōshō-gaku series 6 “Shūen-to chūshin-no gainen-de yomitoku Higashi-Asia no Etsu-Kan-Ryū: Rekishigaku, kōkogaku-kenkyū-kara-no shiza,”* pp.105-141. Ōsaka: Kansai University.
西村昌也「ベトナム形成史における“南”からの視点：考古学・古代学からみた中部ベトナム（チャンパ）と北部南域（タインホア・ゲアン地方）の役割」
- Sở Văn hóa, Thể thao và Du lịch Tỉnh Thanh Hóa. 2017. *Dân ca, Dân vũ Đông Anh*. 清化省文化体操遊歴所『東英民歌民舞』
- Sở Văn hóa, Thể thao và Du lịch Tỉnh Thanh Hóa. 2017. *Trò diễn Xuân Phả*. 清化省文化体操遊歴所『春譜伎演』
- Yao Takao, 1988. Concerning the Thanh Hóa Group in the Early Years of the Lê Dynasty in Vietnam, *Tōyōshi Kenkyū*, 46 (4), pp.792-82. Kyōto: Tōyōshi Kenkyūkai.
八尾隆生「ヴェトナム黎朝初期の清化集團について」

一次の50年を見据えてー 日本ベトナムの若者交流 支える大人たち 日本ベトナム教育文化交流会 2023.8.5 公益社団法人ベトナム協会

ベトナム協会が主催する日越外交関係樹立50周年記念事業「日本ベトナム教育文化交流会」外務省大塚南東アジア第一課長、在日ベトナム社会主義共和国大使館ミン公使、フォン教育部長等をお招きして、会場ライブとベトナムで視聴する学生向けにYouTubeの生配信、zoomでのハイブリッドで開催されました。

一次の50年を見据えてー日本ベトナムの若者交流 支える大人たちをテーマに席上、日越友好親善に貢献した若者、松岡柊吾さん、Do Thi Minh Phuong（通称メイ）さんが表彰されました。

日越友好親善賞 松岡柊吾氏（慶大1年生）・Do Thi Minh Phuong氏（HONTO-TV 代表）



松岡柊吾氏

受賞理由

ベトナム人技能実習生の悲しいニュースを見て、同年代のベトナム人が困っている。何か支援ができないかと高校1年の時にNPO法人Adovoを設立。技能実習生に日本語教育や日本文化紹介などを行っている。全国に150人の学生会員がいる。



Do Thi Minh Phuong氏

受賞理由

元VTV4 ジャパンリンクMCの経験を活かし、YouTube【HONTO-TV】を立ち上げ日本のニュースや情報を配信して、在留ベトナム人が安心して暮らせるように、貢献した。

交流会は、日本初のベトナム音楽バンド「ホンベト」によるベトナム音楽が流れる中で開会、ベトナム留学生による「ベトナム民族衣装ショー」、衣装のままで日本の学生と一緒に「ドラえもん」「名残雪」の合唱やゲームなどが行われました。日ごろ交流が少ない学生たちはすぐ友達になっていました。

途中VJCTボランティア日本語会話指導員へ感謝状の贈呈（別ページに掲載）があり、ハノイ大学の



ベトナム歌曲アンサンブルを演奏するホンベトの皆さん



オンライン挨拶ハノイ大学フォン先生



日本ベトナムの学生が楽しく合唱

事業（セミナー等）

フォン先生からオンラインで祝辞と感謝の挨拶があり、交流会のフィナーレは、舞華さんによる「よさこい」「花紅水明～かわらぬ想い」「正調よさこい鳴子踊り」「鳴子舞の演舞」鳴子を手に持ち会場内の全員が踊りだしました。



出演者全員で集合写真

グローバルインターンシッププログラムの 取り組み内容について

株式会社J&Jヒューマンソリューションズ
営業本部営業企画課 長谷川 淳

グローバルインターンシッププログラムとは、ベトナムの大学（日本語学科）に通う学生が「特定活動（インターンシップ）」の入国資格で、最長1年間日本のホテル・旅館で働きながら「日本独自のおもてなし（ホスピタリティ）」と「生きた日本語」を学ぶことを通して大学の単位を取得するプログラムです。又、単に人手不足で苦慮しているホテル・旅館への労働力の提供だけにとどまらず、観光人材としての「人材教育」や「国際交流」への貢献も目指しています。

1, J&Jヒューマンソリューションズ（略称：JJHS / 以下JJHS）の会社概要

JTBとJCBの共同出資会社「J&Jグループ」の一員として2016年に誕生した当社は、2018年4月に全国のJTBグループの人材サービス部門を統合し、新たにスタートいたしました。

弊社所属のツアーコンダクター（添乗員）・オフィスワークスタッフ・インバウンドガイドの各スタッフが、世界をフィールドに活躍しております。

2, グローバルインターンシップの概要

①取扱実績

2013年の北海道スキー場への派遣から始まり、当初は1施設20名程度からスタート。2019年度には80を超える全国のホテル・旅館のご協力により400名以上の大学生が来日しました。その後、コロナ禍を経て2022年より再開し、2023年度は全国18の施設様のご協力により、60名を超える学生が来日して全国のホテル・旅館で活躍しています。

②体制（募集～赴任まで）

- ※インターンシップ事務局（JJHSとKD Japan（株））を設け、以下の業務を行います
- ・学 生 募 集：国立大学、有名私立大学の日本語学科（N3以上）の学生を募集及び推薦
- ・書 類 選 考：志望動機・語学力・経験等により選考
- ・面 接：オンラインを利用して、事務局が学生を日本語で面接
- ・マッチング：学生の個性を重んじ、ホテル・旅館の特性を加味して決定
- ・赴 任：最寄りの国際空港まで出迎えに行き、赴任先まで事務局がアテンド

③特徴（学生の質の高さ）

このプログラムは、学生を受け入れていただけるホテル・旅館に住居と光熱費を提供していただきますので、学生の負担は食費のみです。よって、活動費（給料）のほとんどが貯金できる仕組みなので想像以上に多くの学生が応募してきます。

その中で、日本語能力にプラスして「人柄」「意気込み」「コミュニケーション能力」等を総合判断する面接を実施して可否を決定するため、ホテル・旅館の要望にマッチした優秀な学生を紹介することができ、かつ、リピーター率の高いプログラムです。

<インターンシップ受け入れに必要なコスト及びご準備頂くもの>

- ・活動費（給料：各地区最低賃金） ・赴任、帰任時の交通費（国際空港～施設）
- ・アドバイザー料金（JJHSへ支払い） ・社会保険負担
- ・寮（相部屋可） ・光熱費 ・自炊施設（希望） ・WiFi環境（希望）

④活動内容について

- ・活動期間は6ヶ月～12ヶ月間
- ・活動内容は個々の日本語能力により異なりますが、主にレストラン業務（配膳・下膳・洗い物）
- ・客室サービス業務（掃除・お客様のご案内と接客）、フロント業務等

⑤ホテル・旅館のメリット、ネガティブ要素

＜メリット＞

- ・大学で日本語を学び、日本を好きな学生が大半で、日本を学びたい気持ち強い
- ・真面目で素直な学生が多く、お客様や従業員の皆様に可愛がられる
- ・高齢化の進む宿泊施設様の職場の中で、20歳前後の学生が活動する事で職場が活性化し従業員の皆様のモチベーションが上がる
- ・インターンシップが終了すると、大学に戻り卒業するため、他にあるようなトラブルは少ない

＜ネガティブ要素＞

- ・赴任して1ヶ月程度は日本語に慣れず、意思疎通はできるが理解に時間がかかり、教育が必要になる
- ・大学では敬語までの教育を受けていないため、最初は敬語の接客に苦労する事が多い
- ・インターンシップを通じて戦力となった矢先に、期限がきて帰国してしまう

3、ホテル・旅館の皆様の感想（受入施設様評価表抜粋）

＜学生が赴任して9ヶ月後の感想＞

いつも冷静に仕事をしています。朝食サービスではお客様への説明もスムーズになり、笑顔で接客してくれています。分からない事はすぐに質問してくれ、そのままにしないのが良いですね。

4月には一人旅を計画して、東京・茨城・山梨・横浜と新幹線とバスを使い旅行してきました。

＜学生が赴任して6ヶ月後の感想＞

指示出しをするスタッフの指示を仰がずに自ら率先してコンディメントの差し替えや準備、片づけをスムーズに行うようになった。締め作業時はスタッフと協力し合いスピード感を持って行えてる。今後は料理差し替え時のゲストへのお声掛けを積極的に行い、サービス面の向上を期待している。

4、まとめ

このプログラムの成功のポイントは「人材育成（愛情）」だと思います。

ホテル・旅館の従業員の皆様が学生に愛情込めて指導していただく事で、学生は期待に応えるために一生懸命活動（仕事）し日本語能力も向上します。

また、従業員の皆様が学生に指導していただく事で刺激を受け、初心に戻り、モチベーション高く仕事に取り組み社内が活性化します。

また、従業員の皆様が学生を日帰り旅行に誘ってくれたり、食料品の買い出しに連れていってくれたり、自分の子供（家族）のようにかわいがっていただくことで、学生も従業員の皆様を自分の親のように尊敬し、充実したインターンシップを過ごすことができます。

以上



ベトナムから到着



女将さんから終了証書

私は松之山温泉でインターンシップを体験しました。

ハノイ大学 日本語学部

ファム・ティ・フエ

私は日本に行って、旅館でインターンシップの体験するチャンスがありました。

2022年8月日本の新潟県松之山温泉に行って、一年間のインターンシッププログラムが始まり、とてもワクワクしていました。

この場所は山の中で実家とは全然違います。建物は坂の上に立っていて周りはとてもいい眺めです。それに静かです。私はこの生活環境がとても好きになりました。

千歳旅館で働きました。社長さんと女将さんはとても優しいです。

いろいろ手伝ってくれました。綺麗な寮を準備してくれました。とても感謝しています。



大学で日本の事を勉強しているけどいろいろなことがまだ分らなかったです。

仕事の前に女将さんに日本のおもてなしやお客様への話し方や身振りなどについて教えてもらいました。

最初の一日の仕事は8時半に始まり、食器を洗い、食器片付け、布団敷きをすることでした。慣れてからは、毎朝7時に始まり、お客様の朝食の準備やお客様に朝食の説明などをしました。

そして、日本語の会話スキルを練習するチャンスがありました。

午後3時半に仕事が終わって部屋で日本語の単語や文法などを勉強しました。

インターンシッププログラムに参加していろいろなものを体験しました。

日本人との話し方、お客様との対応の仕方、旅館の仕事、日本の文化体験。日本語はかなり上達したと思いました。

旅館の仕事に慣れて特定技能の宿泊業試験を受けました。

将来この試験が役に立つと言われたので登録しました。宿泊の経験をしてテキストを読んで受験し、無事試験に合格できました。うれしかったです。

インターンシッププログラムに参加していい経験をする以外、日本旅行のチャンスもありました。休日にはよく旅行に行きました。東京、茨城県、神奈川県、山梨県、京都、大阪、どこも綺麗です。もう一回日本に行くチャンスがあったら、いろいろな所へ旅行に行きたいです。



富士山を見ながら



桜の季節（東京・上野公園）



初めてのスキー

それに、日本の食べ物をたくさん食べてみました。美味しかったです。私は寿司と刺身が一番好きです。いつも食べたいです。



日本の食べ物の一つ一つに意味があります。

例えば、住んでいた十日町の「へぎそば」です。新潟県の織物文化とそばの食文化が融合して生まれた魚沼地方発祥といわれる郷土料理です。面白いと思います。

今大学に戻って、また日本に行くチャンスがあるように、いつもできるだけ勉強しています。



へぎそば



インターンシップ終了証明書を頂きました。

私は、北海道にインターンシップしました。

FPT 大学
チャン・ミン・ズイ

みなさん こんにちは。初めまして、FPT 大学から来たミン・ズイと申します。

一年前に僕は北海道トマムの星野リゾートでインターンシップしました。今でも、北海道のホテルで過ごした日々の思い出を噛み締めています。

正直に言うと、最初、僕は単純に日本のことやホテルの仕事をもっと知りたいという気持ちで、大学のインターンシップ・プログラムに申し込みました。当時、自分のコミュニケーション力に自信がなくて、完璧な文を作るのにも時間がかかり、日本人と友達になれるとは、全然思えませんでした。

インターンシップ中、皆はいつも仕事に集中していて、おしゃべりする時間もなくて、コミュニケーションも仕事レベルにしかとどまっていませんでした。



トマムにきた初日



初めて試したスノーボード

しかし、しばらくしてから、日本人の同僚や上司が楽しそうに話しかけてくれるようになり、その劣等感は徐々に消えてきました。

彼らから「たき、づいづい」といった色んな可愛いあだ名を付けてもらい、ベトナムのことについても色々聞かれるようになりました。

「ね、たき、ベトナムってどんなふうに見える？」
「コンビニある？セイコーマートみたい？セブンみたい？」
「おい、づいづい、ベトナム何がうまいんだい？」



そんな風に、どんどん、どんどん、彼らとのつながりを築き、よりオープンになれば、いつの間にか、

今までの人見知りもなくなり、地域文化から方言まで、仕事のことも仕事以外のことも、彼らから多くのことを学ぶことができました。その時の僕は幸せ、いや、とっても幸せでした。

僕はホテルでいろんな仕事、いろんな所でやらせてくれました。

主にニニヌプリというレストランの目で牛肉の鉄板焼きとか鶏肉の新子揚げとかラムのジンギスカンなどの北海道ならではの調理法で仕上げたお肉料理を提供し、客室を掃除したりホールでアテンドしたりします。



休日は皆さんと一緒に観光に行く



鶏肉の新子揚げを目前でやる時

僕がインターンシップで行った星野リゾートは、何もない場所ですが、その代わり、日本人らしい日本人がいるおかげで、この村がだんだん、面白いと感じるようになりました。

「タキはね、どんなに大変でも、いつも笑顔で周りを明るくできるところが素敵だよ」と皆に言われましたが、実は、その笑顔は皆が僕にくれたものです。

これからも、自分が学んだことを生かして、ベトナムの美しさを日本に伝え、逆に、日本ならではの優しさを活かし、日本のことを聞かれたら、「ほんまに？知らなかったわ。」「日本に行ってみたいな～」というような返事が得られるように紹介に努めたいと思います。

城崎温泉（兵庫県）でのインターンシップ

ハノイ大学 日本語学部

Phan Thi Ngan

1. 初めに

こんにちは、私はハノイ大学の日本語学部の3年生です。兵庫県城崎温泉のまつや旅館でインターンをしています。日本に来て2ヶ月が経ち、日本の生活にも慣れました。次に、インターンシッププログラムと日本でのインターン生活についてお話しします。



城崎温泉 まつや

2. インターンシッププログラムへの参加を決めた理由

大学で2年間日本語を勉強していましたが、スピーキングスキルはまだ良くありません。

また、1年生の時コロナの影響でオンラインでの学習となり、日本語を学ぶのが少し大変でした。

母国語以外の言語を学ぶ最良の方法は、その言語が話される環境に身を置くことではないかと考えました。1年間日本に滞在する機会があれば、日本語はかなり上達し、日本の人々や文化についてもっと理解できるようになると思いました。また、大学では学べない実生活に役立つことをたくさん学べると思いました。

3. 日本の印象

私にとって、日本人は本当に温かく、親切で、そして熱心です。こんなに周りの人たちから注目され、助けられるとは思っていませんでした。人々は仕事や生活において私を大いに助けてくれます。最初は日本語が下手だったので、コミュニケーションに苦労することが多かったです。

私が理解できないときは、他の人がわかりやすく説明してくれます。最初私は話すとき、かなり躊躇していましたが、みんなはゆっくりと耳を傾け、間違いを指摘してくれました。

仕事では皆さんがいつも励ましてくれたり、質問してくれたりします。「大丈夫ですか?」「疲れましたか?」「頑張ろう!」という言葉が私に最も多く寄せられました。

同僚からチョコレート、キャンディー、スナックをよくもらいます。それらの小さな贈り物は私にとってとても意味があります。

私は初めてお給料をもらった時に、お世話になったたくさんの人にお礼のプレゼントをしました。

日本にはベトナムでは手に入らないものがたくさんあります。

例えば、日本の水道水はとてもきれいで、そのまま飲むことができます。日本のゴミの分別も非常に整理されています。

ゴミの種類ごとにゴミ袋が異なり、ゴミの収集日も異なります。



お礼のプレゼントを買いました。

日本人はエスカレーターに乗るときは片側だけ立つ習慣があるので、急ぎの用事がある人でも、衝突したり誰かに妨げられたりすることなく、スムーズにエスカレーターを素早く駆け上がることができます。これはまさに文化的な美しさであり、世界中の国に広める必要があります。

4. 初めて雪を見ました。

12月の寒い日に、私は初めて雪を見ました。

ベトナムでは、北部の山の方以外は、雪は降りません。本当に美しかったです。

雪はきれいですが、雪が降っている時に出かけるのはあまり好きではありません。



初めての雪

5. インターンシップの生活と仕事（日本語の勉強）

午前のシフトは7時から11時まで、午後のシフトは4時から8時までです。

仕事内容は、お客様への料理の提供、お客様が食べ終わった後の片付け、お客様が寝るための布団の準備、部屋の清掃などです。これらの仕事は学生に適していると思います。毎日、同僚やお客様とコミュニケーションをとるために日本語を使用する必要があります。そのおかげで、スピーキングスキルは大幅に向上しました。午前のシフトと午後のシフトの間の休憩が長いので、日本語を自習する時間があります。通常午後1時30分から3時30分まで勉強します。独学が必要だと思います。勉強中で難しい語彙や文法がある場合は、日本人の同僚に簡単に質問することができます。皆さん丁寧に説明してくれます。学んだ知識を実際の会話に応用できるのは素晴らしいことです。

インターン生は月に8日間の休日があります。休日には、電車で豊岡市まで買い物に行ったり、住んでいる地域を散策したりすることが多いです。日本での1年はあっという間だと思います。

だから、近い将来にできるだけ旅行に行きたいと思っています。

6. 終わり

インターンシッププログラムは日本語を勉強している学生にとって非常に役立つと思います。

日本での1年間のインターンシップでは、学生は日本語スキルを向上させ、多くの貴重な経験を積む機会があります。

この度は、ハノイ大学日本語学部の先生方に感謝申し上げます。

先生は教室で教えることに加えて、日本の多くの団体や大学と協力して、学生が留学、インターンシップ、短期留学など、さまざまな方法で日本に来る機会を増やすことができるよう努めてくれています。



ベトナムフェスティバル 2023

代々木公園

日越外交関係樹立50周年記念ベトナムフェスティバル2023が、6月3日-4日代々木公園で開催されました。

開会式には秋篠宮佳子内親王殿下のご臨席の下、最高顧問福田康夫元首相、日越代表者の挨拶、弊協会からは山中会長、湯下副会長、梅田理事、貞弘理事、小松理事、小川常務理事等が出席しての開催。

会場内はコロナから解放されて明るい笑顔が充満、ステージには、ベトナムから人気のトップアーティスト（TMEE、GREY D）のパフォーマンス、水上人形劇、ベトナム伝統芸術団の演舞など、ベトナムムード一色の2日間でした。来場者は約20万人。弊協会は名義後援しました。



開会式



ご臨席の秋篠宮佳子内親王殿下



湯下副会長

梅田理事

山中会長



池袋ベトナムフェスティバル 2023 「コロナを乗り越えて希望の未来へ」

2023.4.8-9 池袋西口公園

日越外交関係樹立50周年記念フェスティバルが関東地区のスタートを池袋から始まった。コロナから解放されて日常が戻って初のフェスティバルには、多くのベトナム人が参加しました。会場はやや狭いですが、パインミーのキッチンカーが数台並び混雑の中でも盛り上がりを見せていました。開会式には湯下副会長、梅田理事が壇上参加しました。



「シンチャオ!さいたま」ベトフェス 「豊かな未来への架け橋」

2023.9.1.2.3 ケヤキ広場（さいたま新都心駅）

中秋節をテーマに、埼玉県で初めてのベトナムフェスティバルが開催されました。

ケヤキ広場（さいたま新都心駅）とアクセスも良く、会場には多くのベトナムファンが集まりました。弊協会は名義後援をしました。



甲府市ふるさと応援寄附金事業 ベトナムフェスタ in 甲府 2023

2023.11.4 主催：山梨学院大学国際交流センター

駐日ベトナム社会主義共和国大使館グエン・ドック・ミン公使（ご講演）をお迎えして、「ベトナムフェスタ in 甲府2023」が山梨学院大学で開催されました。ハノイ大学からCCJLCセンター長のHuong先生・5名の学生が来日参加。青山山梨学院大学学長、樋口甲府市長、ホンコンVYSA会長などがご挨拶。ベトナム人留学生の民族衣装ショー、「ホンベト」のベトナム音楽アンサンブル、日越友好ソングTomodachiを山梨学院に留学中のベトナム人学生を交えて大合唱が行われ、甲府市にひと時ベトナムの明るい歌声が響きました。ベトナム協会は名義後援を行い、当日小川常務理事が参加しました。



日越友好ソングTomodachiの大合唱



ハノイ大学フォン先生（左）と青山学長



民族衣装ショー VYSA



来日したハノイ大学の学生



フエ外国語大学からの留学生と来日ハノイ大学先生・学生



ベトナム歌曲アンサンブル ホンベト

ベトナムフェスタ in 神奈川 2023 (2023.9.9-10) KANAGAWA festival in HANOI 2023 (11.18-19) • in DANANG 2023 (11.21)



神奈川県では、今年も「ベトナムフェスタ in 神奈川」をはじめ「KANAGAWA festival in HANOI」[KANAGAWA festival in DANANG]を開催しました。

ー未来への絆を紡ぐーをテーマに、神奈川会場にはヒエウ大使・ベトナム文化スポーツ観光副大臣をお招きしての開催となり、バクニン省の伝統芸能「クアンホ民謡」で開幕し、お馴染みになった水上人形も来日しました。

KANAGAWA festival in DANANGは、ダナン三日月で開催、ダナン・フエの大学による、「ベトナムと日本をつなぎ、私たちの夢」の学校対抗プレゼンテーションが行われました。「かわさき鬼滅キッズ」の10人が訪越し、パフォーマンスの披露がありました。当日は洪水のためフエ外国語大学の学生が会場に来られず、プレゼンだけはオンラインで行いました。

In HANOIは、昨年と会場を変えて、ホアンキエム湖側の戦没者記念像前広場で開催、「日本語カラオケ大会」、両国による「よさこいパフォーマンス」などで大いに盛り上がり、私は今年も「漢字・習字」ブースを出展し、運営はハノイ大学CCJLCの学生にお願いしました。習字は今年も人気で持参した半紙600枚が2日目の午前には無くなる状態でした。

(ベトナム協会小川弘行)



ベトナムフェスタ in 神奈川 開会式



満員の水上人形会場



学校対抗プレゼンテーション in DANANG



オンライン参加 ハノイ外国語大学



In HANOI会場



「漢字・習字」ブース スタッフ

各地で開催されたベトナムフェスティバル



大阪 6.10-11



福岡ベトナムフェスティバル 4.15-16



ベトナムフェアin鹿児島 11.23



2023ベトナムフェスティバルin 愛知 名古屋
11/11-12



新潟ベトナムフェスティバル 12.23

VJCT 日本語会話指導員 7 名に感謝状贈呈

公益社団法人ベトナム協会

弊協会事業ベトナムで日本語を学ぶハノイ大学・フエ外国語大学の学生とオンラインで日本語会話を指導する、「ボランティア日本語会話指導員」を長期にわたってやって頂いている 7 名に対して、8 月 6 日の「日本ベトナム教育文化交流会」の席上、外務省大塚南東アジア第一課長、ベトナム大使館ミン公使ご臨席の中で、ベトナム協会山中会長から感謝状の贈呈が行われました。



後列左から
ベトナム協会山中会長 外務省大塚南東アジア第一課長
ベトナム大使館ミン公使



斎藤博氏



松下博幸氏



村田みのり氏



富永茂氏



野村侑平氏



高田昇一氏



小川弘行氏

VJCT 日本語会話指導員 意見交換会・忘年会

2023.12.9 ベトナムガーデン (代々木)

VJCT 指導員と日本語会話に参加した学生（留学中）とが集まり、意見交換会・忘年会が開催されました。コロナ禍（2021.9）でスタートした VJCT は、直接お会いしてご意見をお聞きする機会がありませんでしたが、ようやく実現ができ、直前に体調を壊して欠席した指導員の方もいらっしゃいましたが、指導員 6 名、学生 3 名が参加して、これからも工夫をしながら、ベトナムの若者と日本語会話を通して日越友好親善に貢献したいと誓いあいました。

参加した学生も、日本語会話を指導してくれた先生に直接会えて良かったと大変喜んでいました。

参加者指導員：斎藤博氏、高田昇一氏、松下博幸氏、富永茂氏、野村侑平氏、小川弘行氏
学 生：ハーさん（ハノイ大学⇒明治大学）、ズエンさん（ハノイ大学⇒お茶の水女子大学）、
ロアンさん（フエ外国語大学⇒日本女子大学）



日越外交関係樹立 50 周年記念事業

新作オペラ「アニオー姫」・日本プレミアム公演

2023.11.4 会場：昭和女子大学 人見記念講堂



新作オペラ「アニオー姫」日本プレミアム公演が、11月4日昭和女子大学人見記念講堂で開催されました。

同事務局から、ベトナム協会宛てにご招待を頂きましたので、皆様にご案内しました。

ご参加いただきました方々からは、大変良かったとのご報告を頂きました。

荒木宗太郎は、安土桃山～江戸時代にかけての御朱印貿易商であり、長崎から広南国（現在のベトナム中部）へ赴き、広南国の阮福源王から信頼を得て王女・玉華姫と結婚しました。御朱印船は、16世紀末から17世紀初頭、当時の為政者からの海外渡航許可証（朱印状）を得て、ベトナムなど主に東南アジア方面との交易を行った船。宗太郎は、玉華姫を正妻として長崎に迎え、姫は長崎の人々から「アニオーさん」として親しまれ、生涯を長崎で過ごしたのです。アニオー姫の興入れの様子は、今も長崎の祭事「長崎くんち」において、7年に1度「御朱印船」の演目で再現され続けています。

世界遺産 ホイアン日本橋展

2023.10.25-11.29 会場：昭和女子大学



この情報はMAKOTOの
タインさんから頂きました。

Nasic 日本語スピーチコンテスト

2023.11.21

主催：一般財団法人学生サポートセンター

会場：ハノイ大学

11月21日、ベトナムで日本語を学ぶ、主な8大学14名の学生が参加して、日本語スピーチコンテストの決勝がハノイ大学の会場で行われました。このスピーチコンテストはコロナで3年間中止されていましたが、久しぶりの開催となりました。

開会式には、ハノイ大学副学長グエン・ティエン・ジョン氏、在ベトナム日本大使館岡本典子氏、ベトナム外務省グエン・チュン・ソン氏、ベトナム日本商工会議所会頭木ノ下忠宏氏、協力会社である(株)学生情報センター（弊協会会員）社長吉浦勝博氏等が参加しました。

ベトナム協会は名義後援を行い、小川常務理事が参加しました。

参加大学：ハノイ大学・ハノイ貿易大学・ハノイ国家大学外国語大学・ハノイ工科大学・

ハロン大学・タンロン大学・FPT大学・ダイナム大学

入賞者	最優秀賞	グエン・バオ・ガン（ハノイ貿易大学）	敬称略
	優 秀 賞	ハー・チャー・ミー（ハノイ大学）	
	同	ゴー・ホン・ハイン（ハノイ大学）	
	同	チン・トゥ・フォン（ハノイ国家大学外国語大学）	
	同	レー・グエン・トゥエット・ゴック（ハノイ貿易大学）	

上位5名は、副賞として2024年1月 日本へ招待されます。

審査員 (株)学生情報センター 社長 吉浦勝博（兼 学生サポートセンター理事）
 (一財) 学生サポートセンター常務理事・事務局長 木村晃
 国際交流基金ベトナム日本文化交流センター 日本語専門家 足立健治
 ベトナム日本友好協会副会長（元ハノイ国家大学外国語大学副学長）ゴ・ミン・トゥイ



決勝 参加14名の学生



審査員



交流会

VYSA 2024 新役員体制が決まる

在日ベトナム学生青年協会

VYSA 在日ベトナム学生青年協会総会が2024年1月13日（学）メイ・ウシヤマ学園ホールでヒエウ大使ご臨席の中で開催され、各支部の活動発表後、2024年の新役員体制が発表されました。2023会長ホンコンさんから2024会長アンさんへ引継ぎがなされました。

なお、ホンコンさんは顧問として引き続き組織運営のアドバイスを担当します。



2023ホンコン会長から2024アン会長へ



ヒエウ大使から祝福を受けるアン会長

NGUYEN THI TRAM ANH 会長挨拶 （東京国際大学4年生）

こんにちは！チャム・アンと申します。2024年度、在日ベトナム学生青年協会（VYSA）の会長を務めさせていただきます。

VYSAの一員として日本で3年を過ごし、当協会の活動が持つ意義と若者たちの情熱に触れてまいりました。それと共に、私が4年生として就活や卒論などに追われる中でも、社会に貢献したいと思い、立候補しました。

2024年には、文化・スポーツから進学・就活支援まで、年次イベントを実施するとともに、プロフェッショナリズムを強調し、コミュニティ全体に広めることを目指しています。

ベトナム人は日本で2番目に大きな外国人コミュニティを形成しており、当協会は、ベトナム文化を発信することを通じて、日本文化を豊かにし、両国を結ぶ役割を果たしています。

また、我々は在日ベトナム若者を支えるだけでなく、優れた若者が自己を発展させる場でもあります。これらの若者たちは将来、日本とベトナムの社会に貢献し、両国を結ぶ橋渡しとなります。これがVYSAの使命です。

以上の使命を果たすために、皆様のより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。



会長 NGUYEN THI TRAM ANH



副会長 渉外担当
NGUYEN THI QUYNH TRANG



副会長 人事担当
BUI KHANH TRANG

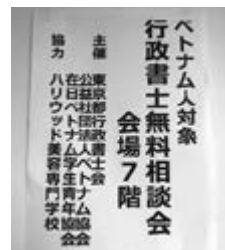
ベトナム人向け行政書士無料相談会

2023.4.14 東京都行政書士会

東京都行政書士会（弊協会法人会員）は、4月14日（金）東京六本木のハリウッド大学院大学内でベトナム人留学生等を対象に無料相談会を開催しました。

在留ビザの更新にあたって、とても心配そうに相談に来た留学生が、帰る時にはホッとした顔で、行政書士の先生に深々と頭を下げ、お礼を言って帰る姿もありました。

留学生は自分で手続きをする人が多いですが、事前に専門家である行政書士の先生に相談することで、心配事がクリアになります。また、手続きを専門家に任せる方法を考えてはいかがですか。



ベトナム人留学生そば打ち体験会

2023.7.30 東京大江戸ライオンズクラブ

東京大江戸ライオンズクラブは、今年もベトナム人留学生のそば打ち体験会を開催しました。

今年で13回目を迎えるそば打ち体験会、昨年に続いての参加者もチラホラ。今年もう一度そば打ちに参加して、覚えてベトナムでやってみたいと。



グループに分かれて、そば粉：小麦粉＝8：2で混ぜるところからスタート。早くも顔が粉で白くなっています。

水を何回かに分けて入れながら、捏ねはじめました。

ベトナムの麺といえばフォーが有名ですが、日本のそばのように捏ねて腰のある麺にはしないため、みんな初めての感覚を味わいました。先生方のご指導で何とか生地を丸め、いよいよ“のし棒”で延ばしの作業に入ります。

延ばしているうちに生地が切れたグループも出ましたがまずは成功です。

最大のイベント、大きな包丁でそば切りがはじまりました。思わず緊張が走ります。やはり太さがバラバラです。

でも楽しいそばが出来上がりました。さあ、みんな揃って試食の時間です。

太さは違っても自分達で苦労して作ったおそばの味は格別。みんな「うまい」の声。

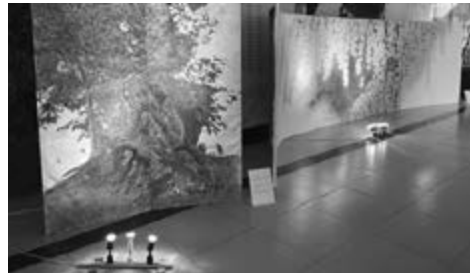
襖絵展 ハノイ大学で開催

日本画家 伊東正次



日本画家 伊東正次氏は、10月5～7日、ハノイ大学で襖絵展を開催しました。

ハノイ大学で日本語・日本文化を学ぶ学生たちに、日本の絵画襖絵を見せたいと、ボランティアで開催しました。ハノイ在住の日本人も来場しました。



伊東正次氏 プロフィール
1962生 愛媛県 日本多摩美術大学大学院美術研究科修了、加山又造、米谷清和に師事。日展特選など数々の受賞経歴を持つ、日本を代表する画家のひとり。



学習まんが人物館 『広岡浅子』（ベトナム語版） 読書感想文コンクール授賞式

大同生命

NHK連続テレビ小説「あさが来た」のヒロインのモデルになった「広岡浅子」さんは、明治の女性実業家であり、大同生命創業者の1人で、七転び八起きを超える「九転十起」の精神のもと、大坂の豪商「加島屋（かじまや）」の立て直しに奔走した人物。「男性が外で働き、女性が家事や育児を行う。」それが当たり前だった時代に実業家として活躍した、まさに現代女性の礎を築いた人物です。

今回のベトナム語まんが読書感想文コンクールには、国内及びベトナムから600点を超える応募があり、厳正な審査の結果、タン・イエウ・ヒエンさん（事業創造大学←フエ外国語大学）が最優秀賞に輝きました。



最優秀賞：タン・イエウ・ヒエンさん

フエ外国語大学訪問記

2023.5.13-14 小川弘行

VJCT オンライン日本語会話トレーニングで知り合いになった、フエ外国語大学の学生から、「是非フエに来て」と誘われ、横須賀の新井建設新井社長、田中部長等と一緒に訪問しました。

同大学チャー日本語学部長、ニー先生、ニュー先生に挨拶、「習字体験」「夕食会」など、40名の学生と交流し、翌日は学生の案内でフエ市の王宮、ティエンムー寺など観光をしました。

トゥアティエン＝フエ省の人口は約35万人、町も静かで渋滞も少なく、緑が多いとても良い環境です。「袋井ベトナム友好協会」や、「NPO茨城県ベトナム友好協会」はとても熱心に交流をしていますが、まだまだ日本からの観光客は少なく、国別訪問者では、上位10に入らない状況です。今後、日本との交流がさらに増えることを期待したいと思います。フエ市は京都市、静岡市、西条市と姉妹提携を結んでいます。



左からニュー先生 ニー先生 チャー学部長 小川 田中氏 新井氏



ホーチミン氏が学んだクオックホック高校



王宮



静かな中心地 宿泊したホテル

第 17 回 ベトナム語スピーチコンテスト



神田外語大学

11月4日 第17回ベトナム語スピーチコンテストが、ベトナム大使館フォン教育部長等をお迎えして神田外語大学で開催されました。

参加大学：東京外国語大学、大阪大学、昭和女子大学、国士舘大学、関東国際高等学校、
神田外語大学、神田外語学院

最優秀賞：スピーチ部門：カテゴリB～Dより1名
宮澤文香（東京外国語大学）

優秀賞：詩の朗読部門：カテゴリAより1名
佐藤賢見（神田外語学院）

カテゴリA 【詩の朗読部門】

- 2位 五十嵐健太（東京外国語大学）
- 3位 中野稜太（国士舘大学）

カテゴリB 【2年生スピーチ部門】

- 1位 小野菜々美（東京外国語大学）
- 2位 平田京妃（大阪大学）
- 3位 石村瑚白（神田外語大学）

カテゴリC 【留学未経験者3・4年生 スピーチ部門】

- 1位 山川花音（神田外語大学）

カテゴリD 【留学経験者3・4年生 スピーチ部門】

- 1位 赤澤七葉（大阪大学）
- 2位 高橋 優（神田外語大学）
- 3位 多田李花（昭和女子大学）

カテゴリE 【親がベトナム人の高校生・学生スピーチ部門】

- 1位 福島幸代（大阪大学）
- 2位 井出夏緒莉（関東国際高校）



「ベトナム フォーフエスティバル2023」 日本初開催!

2023.10.7～8 代々木公園 ケヤキ並木

日越外交関係樹立50周年記念事業として、ベトナムの新聞社 Tuoi Tre（トイチュエ）新聞主催による「ベトナム フォーフエスティバル」が代々木公園ケヤキ並木で開催されました。

出店されたフォーのお店の人気NO1を決めるP1 グランプリや日本の食文化に合わせたオリジナルアレンジフォーコンテストなどが行われました。開会式には元駐越大使で弊協会副会長の湯下博之氏、理事の梅田邦夫氏が壇上でテープカット、小川常務理事、貞弘理事等が参加しました。



今では日本でもすっかりお馴染みのフォーですが、改めて解説をしますと

フォーは、主に牛肉または鶏肉を使ったスープと米麺からなる伝統的なベトナム料理です。スープは豊かな香りと深い味わいが特徴で、数種類のスパイスが使われます。様々な具材とともに、新鮮なハーブやライム、唐辛子などが添えられます。ベトナム人にとってのソウルフードとも言えます。

朝食文化

フォーは主に朝食として食べられることが多いです。ベトナムでは、早朝から屋台やレストランでフォーを提供している姿がよく見られます。朝の忙しい時間帯に手軽に食べることができる便利な料理として重宝されています。

フォーがつなぐ絆

家族や友人と一緒にフォーを食べることは、コミュニケーションを図る機会となり、絆を深める時間として大切にされています。

地域ごとのバリエーション

ベトナムの各地域によってフォーのレシピには違いが見られます。ハノイスタイルのフォーは、シンプルなスープと薄切りの牛肉が特徴です。一方、サイゴンスタイルのフォーは、豊かなスープとより多くの具材とともに食べるのが特徴です。





一般社団法人
大阪ベトナム友好協会

一般社団法人大阪ベトナム友好協会

理事長 仲山 典男

【協会概要】

本協会は日越夫婦を中心として活動しており、ベトナムの素晴らしき多様性のある文化を多くの日本のみなさまにお伝えし、両国の交流がより深くなることを願って文化交流活動を中心に取り組んでおります。大阪ベトナム友好協会の事務所がある今里地区は大阪で最もベトナム人が多く住む地域であるため、地域に住むベトナム人にとっても住み良い環境づくりに貢献していきたいと考えております。

【この1年の主な活動】

大阪で行われた各種イベントへのベトナム舞踊、ベトナム歌謡、ベトナム獅子舞の出演を皮切りに、大阪文化館のオープニングセレモニーや摂津市国際交流協会の30周年記念式典での出演など、ベトナム関係ではない催しにも積極的に出演させていただき、より多くの方にベトナム文化を知っていただくことに力を入れました。



大阪で初めて行われたベトナムフェスティバル2023大阪にベトナム歌謡、ベトナム獅子舞、ベトナム舞踊など、当協会のホーチミン市歌舞団出身者の日越夫婦による本格的なパフォーマンスと日越夫婦を中心に宣伝部ブースの運営にも協力させていただきました。



【新たな取り組みについて】

今年よりベトナム伝統楽器ダン・チャイン（Đàn tranh）を7歳の時から始めてホーチミン市でのコンクールでも優勝している日越夫婦が加わり、ホーチミン市の歌舞団でベトナム伝統舞踊、ベトナム歌謡をやっていた従来からのメンバーの演技に加えてベトナム伝統楽器演奏がメニューに加わることで、来年以降の出演が既に決まっております。



【まとめ】

当協会は、ビジネスでの交流というよりは、市民活動としての文化交流活動を主軸としており、ベトナムのことをよく知らない方々にも多様性のあるベトナム文化の素晴らしさをお伝えし、日本に住む日本人とベトナム人が相互理解していくためのお手伝いが出来ればと考えております。



Feel Vietnam

ベトナム料理教室、フルーツカービング教室など
日本とベトナムの文化交流を中心に活動しています。
ホーチミン市国立ボンセン歌舞団出身のメンバーによる
本格的なベトナム舞踊もお届けしています。





一般社団法人
大阪ベトナム友好協会

■お問い合わせはメールにて
E-mail info@osakavietnam.xii.jp



日越イベントでの理事の活躍が光る年

一般社団法人 日本ベトナムビジネス連合会

代表理事 五味 峻一



一般社団法人日本ベトナムビジネス連合会では、今年も毎月1回、日本とベトナムのビジネス・文化の相互理解を深めるイベントJAVIT会を開催してきました。また2023年は日越外交関係樹立50周年にまつわる各種イベントを通して、日越ビジネスに取り組む多くの関係者の皆様との出会いの年でした。

【JAVIT開催実績】

- ・ 3月15日（水）在日ベトナム人のメディアを知っていますか？メディアの紹介と活用事例大公開！

講師：めい・フォン氏 HONTO TV 理事長 / 在日ベトナム人協会連合会（VUAJ）副理事長

- ・ 4月21日（金）駐日ベトナム大使館商務部が取り組む貿易促進活動について

講師：タ・ドク・ミン氏 駐日ベトナム社会主義共和国大使館 商務部 参事官

- ・ 6月15日（木）日本で唯一のベトナム人上場企業社長に聞く、ベトナムと日本のビジネス

講師：ちゃん・ばん・みん氏 株式会社ハイブリットテクノロジーズ代表取締役 CEO

※上記実績は一部抜粋です。その他実績はこちらからご確認ください。

(<https://j-vba.or.jp/seminar2023/>)



また2023年は、日本全国各地で多くのイベントが日本人、ベトナム人主催で開催されました。

当連合会でも、各理事がイベントの主催者として日本国内で大きく活躍をした年になりましたことを、皆さまにご報告させていただきます。

【JVBA理事主催イベント実績】

- ・「シンチャオ！さいたま」ベトナムフェス

2023年9月1日（金）・2日（土）・3日（日）

場所：けやきひろば ※さいたまスーパーアリーナ隣

（イベントHP：<https://xinchaosaitama.com/>）

- ・ VIETNAM-JAPAN BRIDAL FASHION SHOW

2023年12月16日（土）

場所：Tokyo American Club

（イベントHP：<https://vietnamjapan.bridalfashion.show/>）



以上、本年も日本とベトナムの架け橋となれるよう、コミュニティの継続、各種イベント主催、そして日越進出支援を中心に活動してまいります。皆さま本年も1年間、宜しくお願い致します。

ゆかりのトゥア・ティエン・フエ省で文化行事を開催

袋井ベトナム友好協会

ベトナムの独立の偉人ファン・ボー・チャウの始めた東遊運動（日本への留学運動）ゆかりの地、袋井市（静岡県）の袋井ベトナム友好協会（会長浅羽一芳）は、フエ省越日友好協会と共催で、2023年11月3～4日に、フエ省で文化行事を「袋井の日 in フエ」と銘うって開催しました。



1、文化展示「袋井の日 in フエ」の開催（フエ市内のホーチミン博物館）

①日本文化を知り日本の文化に触れてもらうミニ文化展を開催。

兜・武者人形や雛飾り、鯉のぼりなどの展示や、静岡県や袋井市の観光ポスターや袋井ベトナム友好協会の活動記録の紹介を展示。

②若者に人気の「浴衣の着付け体験」には、20着を用意。

会員や旅行参加の市民の協力でのべ40名も体験をしていただきました。着付けの後、ファッションショーなどを行い、大いに盛り上がりました。



③体験コーナーでは、習字やお茶席体験、子供むけ「くじ引き」

やミニ輪投げなどのゲームコーナーを設け、親子連れの家族にも楽しんでいただきました。

④2005年から交流が続くファン・サオ・ナム中学校（ファン・ボー・チャウの幼少のころの名前を冠した中学校）に小学校のこくご教科書を生徒の皆さんに寄贈。ファン・サオ・ナム中学校は、日本語の学習コースがあります。



2、「日本語スピーチコンテスト」の実施

フエ外国語大学では、コロナ禍のなかで日本人講師の帰国等がありました。このため日本語会話練習に苦勞していると知り、2021年よりZoomによる「おしゃべり交流」を始めました。今回、この体験をもとに「日本語スピーチコンテスト」をフエ外国語大学で開催。予選を通過した8名が参加。優勝者には3月、当会が袋井ホームステイに1週間ご招待します。

3、日本語を学ぶ学生による観光ガイド

11月3日・4日の午後、学生ガイドによる観光を行いました。フエ市内の史跡・市場など、観光地巡りをしながらの交流は参加者にも新鮮で大変好評でした。

4、当会が2023年に行った50周年関連の主な記念行事

①テトを祝うつどい 在静岡県ベトナム人を中心に80名が参加

②春・秋のホームステイに15名が参加

③浜松市で強化合宿をしていたサッカーナショナルチーム（U-17）を袋井に招待し、記念碑紹介と市民交流の激励会を開催

④VN静岡（在静岡ベトナム人会）に協力して、サッカー大会開催。17チーム参加

⑤ベトナムテレビ局（VNT）の、50周年記念に関連する取材に協力

（2013年の外交関係樹立40周年のときも、同様のイベントをフエ市で実施しました。）

私たちは、ベトナムで技能実習生と2週間寝食を共にしました。

NPO法人 Adovo

代表 松岡 柊吾

代表の松岡柊吾君（現 慶大1年生）が高校1年生の時に、東南アジアから来日した技能実習生が、遠く離れた日本に来て、辛いニュースや暗いニュースが多く流れ、同年代の自分たちに何かできないかと思い立ち、「共生（ともいき）」を理念にNPO法人Adovoの設立に至りました。現在全国に約120人の高校生・大学生会員が存在し、主に高校生が中心になって運営しています。講習・交流、日本語教室、ベトナム派遣事業などを行い、その中で、様々な団体・企業様によるご支援で2023年8月2人の女子高校生がベトナム技能実習生の送出し機関で2週間一緒に生活した体験記録を報告します。

ベトナムで技能実習生と2週間寝食を共にして 体験談

莊司 遙香（代表補佐 高校3年生）

派遣前まで送出し機関に向けたオンライン講習会を担当していました。私にとって実習生はずっと画面の先の人だったし、一人一人の話を聞くことはなかなかできませんでした。24時間技能実習生と一緒に生活を過ごしたことで、与える人、受ける人だけでなく、友達という関係になれたのは本当に貴重な体験でした。派遣前は実習生が関わる問題の表面的部分ばかり見ていましたが、実際に彼らの母国で彼らと一緒に生活することで、小さい頃からの環境・価値観の違いを当然のものとして捉えられるようになりました。

派遣で得た学びを下に、これからは日本人と外国人がバックグラウンドの違いを乗り越えて共生できるような活動に関わりたと思っています。



代表
松岡柊吾君

ご支援をお願いいたします

Adovoは高校生が中心の団体で、会費等は一切不要、皆様からのご寄付のみで活動しています。皆様のご支援宜しくお願いいたします。



莊司遙香さん



京小奈那美さん

ベトナムで技能実習生と2週間寝食を共にして 体験談

京小 奈那美（関東地区長補佐 高校3年生）

私は普段、この団体で技能実習生たちに向けた日本語会話の授業を持っています。派遣前は彼らがどんなバックグラウンドを持って日本で働くことを目指したのかはわかりませんでした。でも滞在中に仲良くなった実習生たちは本当に十人十色でした。アニメを見て日本を目指す人、家族にお金を送るために日本を目指す人。自分と歳もそんなに変わらない彼らが自立して日本を志しているのを尊敬する一方で、派遣前は自分が彼らを「技能実習生たち」と一括りに捉えてしまっていたことに気づきました。同世代の実習生それぞれの生活が有意義なものになるよう今後も頑張ります。



ハノイ 来日前の技能実習生たちと一緒に生活

写真左：
報告発表会 ベトナムフェスタin 神奈川にて
2023.9.10



写真右：
ハノイ 来日前の技能実習生に日本の生活をレクチャー



バッチャン陶芸博物館を訪問して

公益社団法人ベトナム協会 小川弘行

陶芸の村として有名なバッチャン村（ハノイの中心部から約20km）に2022年に建設された、「バッチャン陶芸博物館」の総面積は 3700m²で、とてもユニークなデザインの建物です。オーナーは地元の資産家、企画運営の責任者を私の友人タインさんがやっています。2023年11月に訪問してきました。タインさんは日本の陶器と連携を深めたいと話していました。



左奥 タインさん

博物館内は、3つのフロアで構成されています。

1階：「陶磁器の広場」 たくさんの陶器を販売しており、アーティストの作品を展示しています。また、イベントや伝統文化祭などの開催場所としても適しています。

2階・3階：陶器の村の歴史や発展についての説明、陶芸体験もできます。

最上階：カフェがあり、眺望もよく Bac Hung Hai（バック フン ハイ）川を見渡せます。

Bao tang gom Bat Trang（バッチャン陶芸博物館）では、レストラン、ホームステイ、陶器作りなどの体験サービスもあります。



屋上 休憩場所



～～ 掲 示 板 ～～

新入会員ご紹介

法人会員	学校法人明日香学園（大分県大分市）
個人会員	小松みゆき（フリーライター「ベトナムの風に吹かれて」原作者）
個人会員	勝 恵美（ハノイ市在住（一社）橋を架ける基金代表理事）
個人会員	岩崎 尚子（NPO法人 国際CIO学会理事長）
個人会員	古久保英明（NPO法人ベトナム簿記普及推進協議会）
個人会員	古城 正佳（日本マルタ友好協会理事 日本語教師）
個人会員	千葉 晃（株アイリアリリティ 代表取締役）

会員名簿

2023年10月1日現在 敬称略

○法人会員

（学）明日香学園	（大分県大分市）
（株）アスク出版	（東京都新宿区）
アイデックス社会保険労務士法人	（埼玉県春日部市）
一般財団法人アジア会館	（東京都港区）
いすゞ自動車（株）	（東京都品川区）
オプテックス（株）	（滋賀県大津市）
花王（株）	（東京都中央区）
（株）学生情報センター	（東京都渋谷区）
（株）柿生電設	（東京都町田市）
KD ジャパン（株）	（東京都中央区）
（株）グローバルトラストネットワークス	（東京都豊島区）
（株）CRI グローバル	（群馬県前橋市）
GK アセットマネジメント（株）	（東京都中央区）
（株）シーエス・アイ	（東京都文京区）
（株）新日本	（大阪市北区）
住友商事（株）	（東京都中央区）
東京放送ホールディングス（株）	（東京都港区）
東京都行政書士会	（東京都目黒区）
西川産業（株）	（大阪市淀川区）
日本工営（株）	（東京都千代田区）
日本ハウズイング（株）	（東京都新宿区）
日本ユニシス（株）	（東京都江東区）
（株）平山	（東京都港区）
広島トヨタ（株）	（広島県広島市）
富士国際ビジネス専門学校	（東京都文京区）
（学）松山学園	（千葉県松戸市）
三井石油開発（株）	（東京都港区）
MIRAI（株）	（東京都港区）
（学）メイ・ウシヤマ学園	（東京都港区）

○賛助会員

一般社団法人 日本ベトナム経済交流センター	（大阪市北区）
認定特定非営利活動法人 日越堺友好協会	（堺市堺区）
日本ベトナム友好協会茨城県連合会	（茨城県水戸市）
一般社団法人 国際人材生活支援機構	（岐阜県海津市）
袋井ベトナム友好協会	（静岡県袋井市）
特定非営利活動法人 日本国際親善協会	（東京都新宿区）
一般社団法人 日本ベトナムビジネス連合会	（東京都千代田区）
神戸大学大学院農学研究科	（神戸市灘区）
一般社団法人外国人留学生高等教育協会	（東京都渋谷区）
特定非営利活動法人 Adovo	（東京都港区）

（ベトナム人団体）

一般社団法人大阪ベトナム友好協会
在日ベトナム学生青年協会
一般社団法人在日ベトナム仏教信者会
一般社団法人在日ベトナム経営者協会

○個人会員 95名

公益社団法人ベトナム協会 役員名簿

(2023年 7 月 1 日現在)

* 業務執行理事

理事相談役（※名誉会長）	槍田 松瑩	（元幣協会会長・(学)国際大学理事長）
代表理事（※理事長）	山中 祥弘	（(学)メイ・ウシヤマ学園理事長）
※ 理 事（副会長）	湯下 博之	（元駐ベトナム日本国大使・民間外交推進協会専務理事）
※ 常務理事（専務兼）	小川 弘行	（事務局長・国際教育協会理事・VYSA顧問）
理 事	東 直樹	（元住友商事(株)地域総括・調査部長）
理 事	市川匡四郎	（IBC ベトナム代表）
理 事	入江 祥史	（NHK 学園非常勤講師）
理 事	梅田 邦夫	（前在ベトナム日本国大使）
理 事	川島鋼太郎	（(学)メイ・ウシヤマ学園・国際交流センター長）
理 事	北川 浩伸	（日本食品海外プロモーションセンター執行役JETRO前ハノイ所長）
理 事	木村 憲	（(社)シャンデイ国際ボランティア代議員）
理 事	小池 聡	（ベジタリア(株)社長）
理 事	小松みゆき	（フリーライター・「ベトナムの風に吹かれて」原作者）
理 事	貞弘 真理	（ISC(株)社長）
理 事	坪井 善明	（早稲田大学名誉教授）
理 事	守部 裕行	（元JETROハノイ事務所長・ベトナム経済研究所長）
監 事	吉成 正樹	（アイデックス社会保険労務士法人代表）
監 事	福田 利之	（日本工営(株)コンサルティング事業統括本部 営業統括部 海外営業部 課長）
名誉顧問	ファム・クアン・ヒエウ	（駐日ベトナム特命全権大使）
顧 問	小倉 和夫	（元国際交流基金理事長）

注 ※相談役・代表理事の一般呼称について

次期総会にてそれぞれ名誉会長、理事長に定款変更の予定です。

※理事 市川匡四郎氏は、2024年 1 月12日にご逝去されました。

あとがき

ハノイ大学2023年の学部ごと受験者数の順位は、韓国語、英語、中国語、日本語の順位であったと。日本語はもっと上位と思っていたがこれが現実です。日本語を学んでも、現地での就職活動は競争が激しい。

我が国の労働人材不足は、更に2024年は騒がれるであろう。

日本語学んだ人が、もっと日本で働けるシステムを作る必要がある。技能実習制度は人権問題と言われて急遽改革に動き出した。

確かに人権問題の改善は急を要する。一方日本語能力があり、日本を好きな外国人や留学生が働きやすい、技人国や特定技能とは別の在留資格の創設を期待する。コミュニケーションが取れれば外国人のトラブル減少に期待できると思うのだが。

ベトナム 2023-2024

2024（令和6年）2月発行

発行所 公益社団法人 ベトナム協会

発行責任者 山 中 祥 弘

編集責任者 小 川 弘 行

〒106-0032 東京都港区六本木 6 - 2 - 33
六本木ヒルズノースタワー アネックスビル 3F
TEL 03-3403-3449

印刷 （株）ポートサイド印刷

〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町16-2
TEL 045-776-2671 FAX 045-776-2678

